

**館内OFDM自主放送システム**

**デュアルSDエンコーダ**




**品番 ENC8103**


**取扱説明書**

**DXアンテナ株式会社**

このたびは、DXアンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
 この製品を正しく理解し、ご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。  
 お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

## 安全上のご注意

	記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	記号は禁止の行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

 **警告** この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



この製品は精密機器ですので、強い衝撃を与えたり、不安定な場所で使用しないでください。また、引火・爆発の恐れのある場所では使用しないでください。  
 機器の故障や破損、発熱、火災など事故の原因となります。



この製品は屋内専用です。この製品に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災や感電の原因となります



表示電源電圧以外の電源で使用しないでください。  
 火災や感電の原因となります。



電源コードは、必ず製品に付属している専用のものをご使用ください。  
 また、この製品の電源プラグは3ピンプラグです。必ず保護接地コンタクトを持った3ピンコンセントに挿入してください。火災や感電の原因となります。



この製品の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っ張ったりしないでください。火災や感電の原因となります。  
 電源コードが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります



万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



この製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。  
 また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



この製品を落としたり、モニタ等の重いものを乗せたりしないでください。故障の原因となります。



取付ネジやボルトや接栓は、指定している力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



この製品のヒューズは同一規格の容量および形状のものをご使用ください。また、交換の際は、必ず電源が供給されていない状態で行なってください。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



## 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この製品を直射日光の当たる場所、暖房機の付近や高温になる場所に置かないでください。また、動作保証温度範囲外、急激な温度変化や結露があるような場所で使用しないでください。火災や破損、故障の原因となることがあります。



この製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電、寿命劣化の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



この製品の故障や不具合および誤った使用方法などにより生じた損害について当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- ・本書の内容は予告なく変更する場合があります。
- ・本書の一部または全部を複製、引用および転載することを禁止します。
- ・記載されている各製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

# 目次

<b>1</b>	<b>製品概要</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>システム例</b>	<b>1</b>
<b>3</b>	<b>特長</b>	<b>2</b>
<b>4</b>	<b>各部の名称</b>	<b>3</b>
4.1	前面パネル	3
4.2	背面パネル	4
<b>5</b>	<b>設置方法</b>	<b>6</b>
5.1	設置場所	6
5.2	ラックへの取り付け	6
<b>6</b>	<b>接続方法</b>	<b>7</b>
6.1	映像入力 (VIDEO IN)	7
6.1.1	SDI 接続	7
6.1.2	NTSC コンポジット接続	7
6.2	音声入力 (AUDIO IN)	8
6.2.1	アナログ平衡 (600 ) 接続 (BAL)	8
6.2.2	アナログ不平衡 (10k ) 接続 (UNBAL)	8
6.2.3	SDI 重畳接続	8
6.3	音声リモート入力 (AUDIO MODE)	9
6.4	イーサネットポート (LAN (100/10) )	10
6.5	TS 出力 (TS OUT)	10
6.6	アラーム出力 (ALARM)	10
6.7	コンソール (CONSOLE)	11
6.8	電源コード (AC100V IN)	11
<b>7</b>	<b>運転</b>	<b>12</b>
7.1	運転	12
7.2	停止	12
7.3	冷却用ファンの保守	13
7.3.1	冷却用ファンの取り外し	13
7.3.2	冷却用ファンの取り付け	13
7.3.3	冷却用ファンの交換について	13
<b>8</b>	<b>操作</b>	<b>14</b>
8.1	設定ボタン	14
8.2	蛍光表示管	14
8.3	蛍光表示管のトップ画面の表示説明	15
8.3.1	トップ画面1の説明	15
8.3.2	トップ画面2の説明	15
8.3.3	トップ画面3の説明	16
8.3.4	トップ画面4の説明	16
8.3.5	トップ画面5の説明	16
8.4	蛍光表示管のメニュー画面の表示説明	17
8.5	蛍光表示管の画面切り換え	18

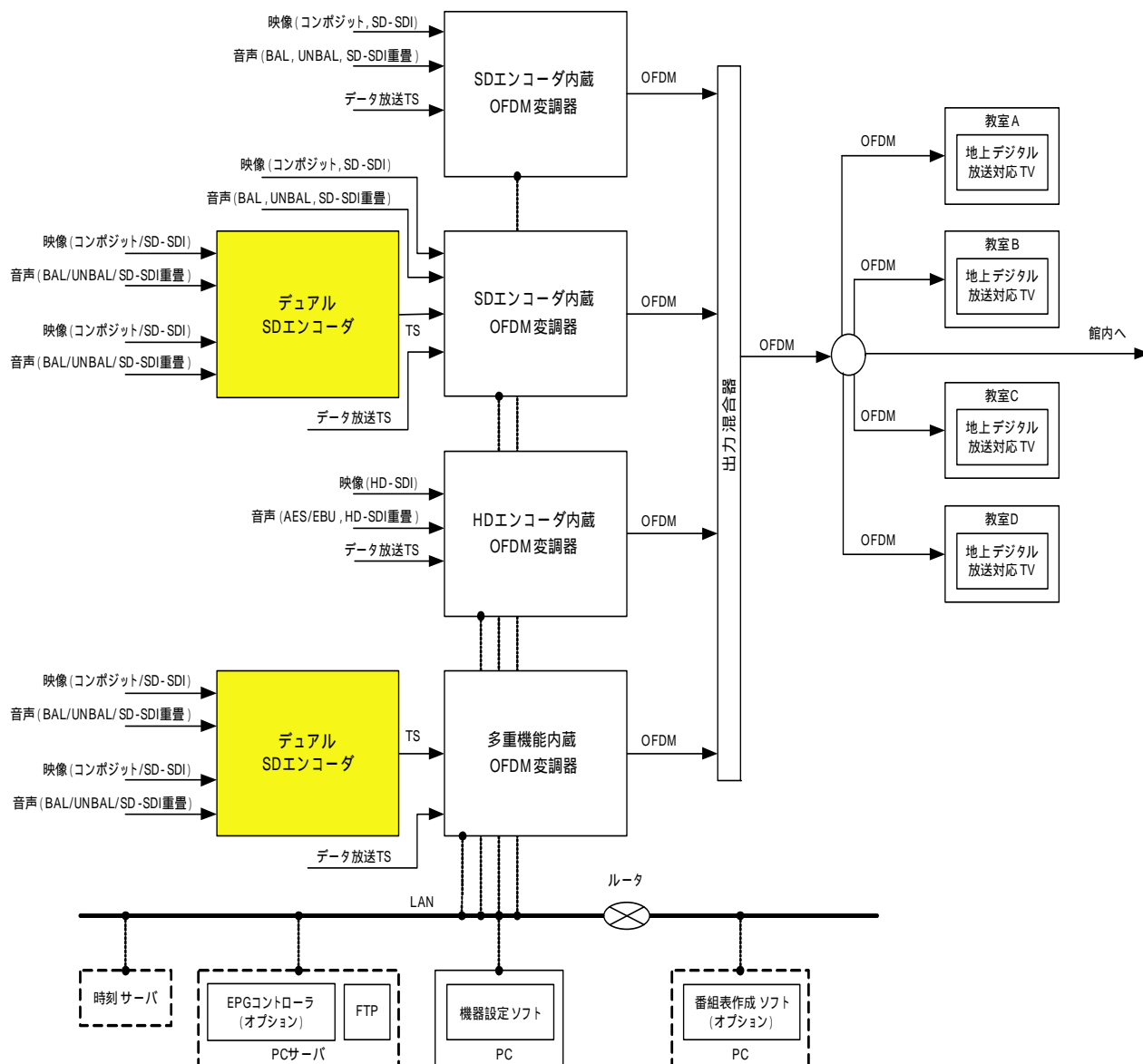
8.5.1	蛍光表示管のトップ画面への切り換え	18
8.5.2	蛍光表示管のメニュー画面への切り換え	18
8.6	機器のシステム情報を設定する	19
8.6.1	遠隔監視(SNMP)を設定する	19
8.7	エンコーダ1を使用する	19
8.8	エンコーダ2を使用する	19
8.9	入力信号状態の確認	20
8.9.1	SDI信号の確認方法	20
8.9.2	映像信号の確認方法	20
8.9.3	音声レベルの確認方法	20
<b>9</b>	<b>機器設定の確認</b>	<b>21</b>
9.1	機器設定の確認方法	21
9.2	設定表示のメニュー階層	22
<b>10</b>	<b>異常表示の確認</b>	<b>23</b>
10.1	異常表示の確認方法	23
10.2	異常表示のメニュー階層	23
<b>11</b>	<b>機器設定</b>	<b>24</b>
11.1	システム設定	24
11.1.1	ユニットIDの設定	24
11.1.2	IPアドレスの設定	25
11.1.3	サブネットマスクの設定	26
11.1.4	デフォルトゲートウェイの設定	27
11.1.5	TCP受信ポートの設定	28
11.1.6	UDP送信ポートの設定	28
11.1.7	イーサネットの回線密度とデュプレックスの設定	29
11.1.8	SNMPマネージャの設定	30
11.1.8.1	SNMPマネージャ1の設定	30
11.1.8.2	SNMPマネージャ2の設定	31
11.2	エンコーダ1設定	32
11.2.1	符号化レートの設定	32
11.2.2	音声利得の設定	33
11.2.3	映像入力信号の設定	34
11.2.4	音声入力信号の設定	35
11.2.5	音声モードの設定	35
11.2.6	映像Y/C分離フィルタの設定	36
11.2.7	映像アスペクト比の設定	36
11.3	エンコーダ2設定	37
11.3.1	符号化レートの設定	37
11.3.2	音声利得の設定	38
11.3.3	映像入力信号の設定	39
11.3.4	音声入力信号の設定	40
11.3.5	音声モードの設定	41
11.3.6	映像Y/C分離フィルタの設定	42
11.3.7	映像アスペクト比の設定	43
11.4	その他	44
11.4.1	ユニット情報(ソフトウェアバージョン)の確認	44
11.4.2	蛍光表示管・表示輝度の設定	45
11.4.3	蛍光表示管・待機表示の設定	46
11.4.4	ユニット初期化	47
11.5	メニュー階層	48
11.5.1	機器設定のメニュー階層	48
11.5.2	その他のメニュー階層	48

<b>12 . 使用方法</b> .....	<b>49</b>
12.1 アラーム接点の使用方法 .....	49
12.1.1 UNIT アラーム出力 .....	49
12.1.2 FAN アラーム出力 .....	49
12.2 コンソールの使用方法 .....	50
12.2.1 制御用PCの設定 .....	50
12.2.2 IPアドレス, サブネットマスク, デフォルトゲートウェイの設定 .....	50
12.2.3 TCP/UDP ポートの設定 .....	53
<b>13 . 機能説明</b> .....	<b>54</b>
13.1 内蔵エンコード機能 .....	54
13.1.2. 映像エンコード .....	54
13.1.3 音声エンコード .....	54
13.2 ソフトウェアバージョンアップ機能 .....	54
<b>14 . 付属品</b> .....	<b>54</b>
<b>15 . 仕様とブロックダイアグラム</b> .....	<b>55</b>
15.1 規格 .....	55
15.1.1 映像入力 .....	55
15.1.2 音声入力 .....	56
15.1.3 符号化 .....	56
15.1.4 出力部 .....	57
15.1.5 ポート .....	57
15.1.6 一般仕様 .....	58
15.2 ブロックダイアグラム .....	59
<b>16 . 外観図</b> .....	<b>60</b>
<b>17 . 付録 (MIB 仕様)</b> .....	<b>61</b>
17.1 ポート番号 .....	61
17.2 Trap 送信 .....	61
17.3 その他 .....	61
17.4 MIB 一覧 .....	62

# 1. 製品概要

この製品は学校やホテル、公共施設などの館内共聴設備向けに開発した館内 OFDM 自主放送システム用のデュアル SD エンコーダです。SDTV MPEG2 リアルタイムエンコーダを 2 回路実装しており、館内 OFDM 自主放送システムの OFDM 変調器に接続して使用します。TS 出力は 2 つのエンコーダを多重して出力されます。映像入力はコンポジット映像および SD-SDI、音声入力はアナログ音声および SD-SDI 重畳入力に対応しています。機器設定は全て前面パネルの蛍光表示管で行います。

# 2. システム例



### 3. 特長

- (1) 前面パネルの表示に自然光で視認性に優れた蛍光表示管を採用しました。蛍光表示管にて機器設定、動作状態および異常状態などが表示できます。設定画面は日本語で表示されるので設定作業が容易です。  
(ただし、ステータス表示は英数字で表示します)
- (2) 映像はMPEG2 MP@ML、音声はMPEG2 AAC LC-profile でエンコードします。
- (3) SDTV MPEG2 エンコーダを2つ内蔵し、2サービスを多重してTSを出力します。
- (4) 映像入力はNTSC コンポジット信号、またはSD-SDI 信号から選択できます。
- (5) 音声入力はアナログ音声の600 平衡音声、10k 不平衡音声またはSD-SDI 重畳から選択できます。
- (6) 音声モードを外部からリモート制御できるように接点入力端子を備えています。
- (7) 出力信号はDVB-ASI 準拠のトランスポートストリームです。
- (8) SNMP エージェント機能を標準で備えているため、SNMP マネージャでこの製品を監視できます。
- (9) JISまたはEIA ラックに上下ブランク無しで使用が可能です。(JIS:1H , EIA:1U 兼用)

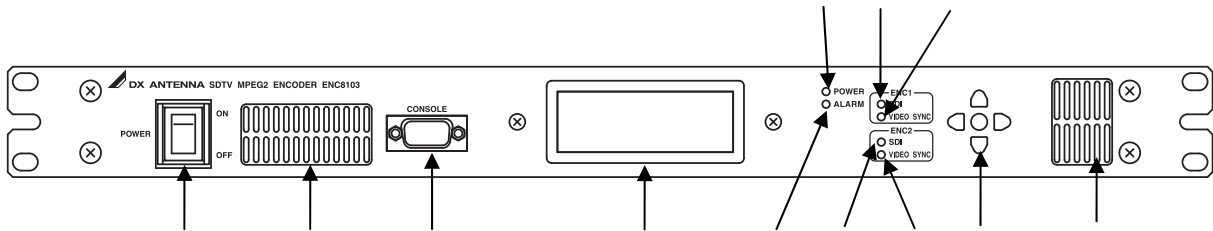
#### 館内 OFDM 自主放送システム機器一覧

名 称	型 名
HD エンコーダ内蔵 OFDM 変調器	DEM9101
SD エンコーダ内蔵 OFDM 変調器	DEM9102
多重機能内蔵 OFDM 変調器	MOD5106



## 4. 各部の名称

### 4.1 前面パネル



#### 電源スイッチ

上側にすると電源が入ります。

#### コンソール

保守用のシリアルポートです。接続はDサブ9PストレートケーブルでPCと接続します。

#### 蛍光表示管

各種設定や状態監視を表示します。

#### 電源表示LED（緑）

機器の電源が入っているとき点灯します。

#### アラーム表示LED（赤）

機器に異常が発生したとき点灯します。蛍光表示管で異常内容を確認してください。

#### ENC1のSDI表示LED（緑）

内蔵エンコーダ1にSD-SDI信号が入力されているとき点灯します。

#### ENC1の映像シンク表示LED（緑）

内蔵エンコーダ1のSD-SDI信号またはコンポジット信号の映像シンクを検出したとき点灯します。

#### ENC2のSDI表示LED（緑）

内蔵エンコーダ2にSD-SDI信号が入力されているとき点灯します。

#### ENC2の映像シンク表示LED（緑）

内蔵エンコーダ2のSD-SDI信号またはコンポジット信号の映像シンクを検出したとき点灯します。

#### 設定ボタン

上下・左右・決定の5つのボタンで構成されます。蛍光表示管に表示される画面を選択します。

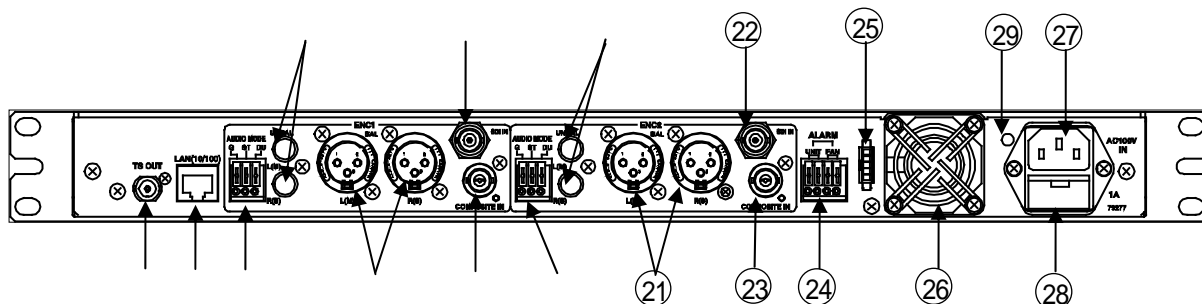
#### 通風口

空気を吸い込む為の通風口です。通風口の前に物を置かないようにしてください。

#### 警告

- ・アラーム表示(赤)のLEDが点滅している時に、電源をOFFにしないでください。機器内部のコンパクトフラッシュメモリのデータが破損して不具合が発生します。

## 4.2 背面パネル



### TS 出力端子

内蔵エンコード 1 と内蔵エンコード 2 のデータを多重したマルチプログラム (映像・音声) の TS 出力端子 (ASI) です。

### イーサネットポート

10BASE-T/100BASE-TX 通信インターフェース端子です。

10Mbps または 100Mbps の物理層でリンクが確立したとき、左側の LED (緑) が点灯します。データを送受信したとき左側の LED (緑) が点灯します。RJ-45 型コネクタ使用。

次のケーブルを使用して接続してください。

ハブ使用時：ストレート

PC 直結時：クロス

### ENC 1 音声リモート入力端子

内蔵エンコーダ 1 の音声リモート入力端子です。

チューナ等から音声モード接点信号を入力してください。

次の使用可能電線を用いて接続してください。

単線：直径 0.4mm (AWG26) ~ 直径 1.2mm (AWG16)

撚線：0.3mm<sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm<sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径 0.18 mm 以上

### ENC 1 音声入力端子 (10k $\Omega$ , 不平衡)

内蔵エンコーダ 1 の音声入力端子 (不平衡) です。

RCA ピンジャック型コネクタを使用して音声信号 (不平衡) を入力してください。

### ENC 1 音声入力端子 (600 $\Omega$ , 平衡)

内蔵エンコーダ 1 の音声入力端子 (平衡) です。

キャンノンコネクタを使用して音声信号 (平衡) を入力してください。

### ENC 1 映像入力端子 (SDI)

内蔵エンコーダ 1 の映像入力端子 (SDI) です。

BNC 型コネクタを使用して SD-SDI 信号を入力してください。

### ENC 1 映像入力端子 (コンポジット)

内蔵エンコーダ 1 の映像入力端子 (コンポジット) です。

BNC 型コネクタを使用して NTSC コンポジット信号を入力してください。

### ENC 2 音声リモート入力端子

内蔵エンコーダ 2 の音声リモート入力端子です。

チューナ等から音声モード接点信号を入力してください。

次の使用可能電線を用いて接続してください。

単線：直径 0.4mm (AWG26) ~ 直径 1.2mm (AWG16)

撚線：0.3mm<sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm<sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径 0.18 mm 以上

### ENC 2 音声入力端子 (10k , 不平衡)

内蔵エンコーダ 2 の音声入力端子 (不平衡) です。

RCA ピンジャック型コネクタを使用して音声信号 (不平衡) を入力してください。

### ②1 ENC 2 音声入力端子 (600 , 平衡)

内蔵エンコーダ 2 の音声入力端子 (平衡) です。

キャノンコネクタを使用して音声信号 (平衡) を入力してください。

### ②2 ENC 2 映像入力端子 (SDI)

内蔵エンコーダ 2 の映像入力端子 (SDI) です。

BNC 型コネクタを使用して SD-SDI 信号を入力してください。

### ②3 ENC 2 映像入力端子 (コンポジット)

内蔵エンコーダ 2 の映像入力端子 (コンポジット) です。

BNC 型コネクタを使用して NTSC コンポジット信号を入力してください。

### ②4 アラーム出力端子 (UNIT)

正常時はブレイク (オープン) 接点です。冷却用ファンに異常が発生したとき、メーク接点 (ショート) となります。

次の使用可能電線を用いて接続してください。

単線：直径 0.4mm (AWG26) ~ 直径 1.2mm (AWG16)

撚線：0.3mm<sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm<sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径 0.18 mm 以上

### ②4 アラーム出力端子 (FAN)

正常時はブレイク (オープン) 接点です。冷却用ファンに異常が発生したとき、メーク接点 (ショート) となります。

次の使用可能電線を用いて接続してください。

単線：直径 0.4mm (AWG26) ~ 直径 1.2mm (AWG16)

撚線：0.3mm<sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm<sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径 0.18 mm 以上

### ②5 ファン制御用コネクタ

ファン制御用のコネクタです。冷却用ファン交換時、ロックを解除しながら取り外してください。

### ②6 冷却用ファン

機器内部を冷却するためのファンです。交換する際は、先にファン制御用コネクタを取り外してから、4 点のネジとフィンガーガードを取り外し交換してください。

### ②7 AC100V 入力端子 (3P)

付属の AC コード (3P) を接続します。

### ②8 電源ヒューズ (1A)

ヒューズは耐ラッシュ型を使用しております。適応外のヒューズは使用しないでください。

### ②9 AC コードクランプ取り付け穴

AC コードクランプを取り付けるための穴です。取り付け方法は、「6.8 電源コード」を参照してください。

## 5 . 設置方法

### 5.1 設置場所

- ・ 19 インチラック以外で使用される場合、平坦で水平な場所に設置してください。
- ・ 機器の周囲に十分なスペースを確保し、風通しの良い場所に設置してください。
- ・ この製品の上に発熱する機器などを設置しないでください。また、発熱する機器などの上にこの製品を設置しないでください。
- ・ 塵や埃の多い場所に設置しないでください。

#### 【注意】

- ・ 急激な温度変化などにより結露することがあります。周囲の温度に慣らしてから使用してください。
- ・ 特に前面パネルの吸気口 および後面パネルの冷却用ファン の排気口が塞がらないようにしてください。

### 5.2 ラックへの取り付け

この製品を19インチラックに実装する前に、ラックの通風が十分行えるようにパネル、ファン等が使用されていることをご確認ください。また、この製品を支えるサポートアングルなどが準備されていることをご確認ください。

- (1)この製品はJIS 標準またはEIA 標準の 19 インチラックに実装が可能です。
- (2)この製品をサポートアングルなどに沿わせ、前面からラック内に挿入してください。そのとき、前面パネルのネジ取り付け穴と、ラックのネジ穴の位置が合っていることを確認してください。もし合っていない場合はサポートアングルなどの位置を修正してください。
- (3)ラック専用のネジ4本(JISの場合は2本)を使用して、この製品の前面パネルをラックに固定してください。

#### 【お願い】

- ・ 19インチラックに実装する場合、この製品を支えるサポートアングルなどを必ず使用してください。
- ・ サポートアングルなどを使用しないで実装した場合、パネルに負荷が掛かり落下する恐れがあります。

## 6. 接続方法

この製品を設置後、先ず入出力信号を接続します。  
接続する入出力信号の接続先が判るように一覧にまとめました。

入出力信号		目的	接続先
ENC1	映像	SD-SDI 信号	映像入力端子(SDI)
		コンポジット信号	映像入力端子(COMPOSITE)
	音声	不平衡信号	音声入力端子(UNBAL)
		平衡信号	音声入力端子(BAL)
	音声リモート制御信号		エンコーダ1の音声モードをリモート制御(接点)
ENC2	映像	SD-SDI 信号	映像入力端子(SDI) ⑳
		コンポジット信号	映像入力端子(COMPOSITE)㉓
	音声	不平衡信号	音声入力端子(UNBAL)
		平衡信号	音声入力端子(BAL)㉑
	音声リモート制御信号		エンコーダ2の音声モードをリモート制御(接点)
イーサネット信号		機器の遠隔監視(SNMP)	イーサネットポート
TS 出力信号		館内 OFDM 変調器に接続	TS 出力端子
アラーム出力信号		機器の接点監視	アラーム出力端子 ㉒

### 6.1 映像入力 (VIDEO IN)

エンコーダの映像入力はデジタルのSDI 信号または、アナログのNTSC コンポジット信号から選択できます。入力される信号により接続するコネクタは異なります。

設定方法はエンコーダ毎に異なります。エンコーダ 1 は「11.2.3 映像入力信号の設定」を、エンコーダ 2 は「11.3.3 映像入力信号の設定」を参照してください。

#### 6.1.1 SDI 接続

映像信号に SD-SDI 信号を使用する場合、エンコーダ 1 は映像入力端子 (SDI) に、エンコーダ 2 は映像入力端子 (SDI) ㉒ に BNC 型コネクタを用いて接続してください。

##### 【注意】

SD-SDI 信号を抜き差しした場合、映像が出力されるまでに約 30 秒の時間が掛かることがあります。機器の故障ではありません。

#### 6.1.2 NTSC コンポジット接続

映像信号に NTSC コンポジットビデオ信号を使用する場合、エンコーダ 1 は映像入力端子 (コンポジット) に、エンコーダ 2 は映像入力端子 (コンポジット) ㉓ に BNC 型コネクタを用いて接続してください。

##### 【注意】

NTSC コンポジット映像入力には AGC 機能を備えており、 $1 \pm 0.2\text{Vp-p}$  の範囲で信号を入力できます。

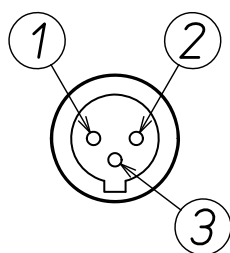
## 6.2 音声入力 (AUDIO IN)

エンコーダの音声入力は、デジタルの SDI エンベデッド、アナログ音声の平衡 (600 ) または不平衡から選択できます。

設定方法はエンコーダ毎に異なります。エンコーダ 1 は「11.2.4 音声入力信号の設定」を、エンコーダ 2 は「11.3.4 音声入力信号の設定」を参照してください。

### 6.2.1 アナログ平衡 (600 ) 接続 (BAL)

音声信号に平衡音声信号を使用する場合、エンコーダ 1 は音声入力端子 (600 , 平衡) に、エンコーダ 2 は音声入力端子 (600 , 平衡) ⑳ にキャノンコネクタを用いて接続してください。左音声信号、または主音声信号は L(M) 端子に接続し、右音声信号、または副音声信号は R(S) 端子に接続してください。キャノンコネクタのピン配置は下図の通りです。



ピン番号	端子名
1	GND(Sleeve)
2	HOT(Tip)
3	COLD(Ring)

### 6.2.2 アナログ不平衡 (10k ) 接続 (UNBAL)

音声信号に不平衡音声信号を使用する場合、エンコーダ 1 は音声入力端子 (10k , 不平衡) に、エンコーダ 2 は音声入力端子 (10k , 不平衡) ㉑ に RCA ピンジャック型コネクタを用いて接続してください。左音声信号、または主音声信号は L(M) 端子に接続し、右音声信号、または副音声信号は R(S) 端子に接続してください。

### 6.2.3 SDI 重畳接続

SD-SDI 信号に重畳された音声信号を使用する場合、エンコーダ 1 は映像入力端子 (SDI) に、エンコーダ 2 は映像入力端子 (SDI) ㉒ に BNC 型コネクタを用いて接続してください。

#### 【注意】

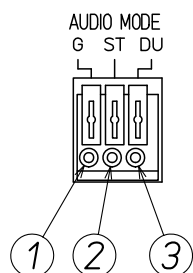
SD-SDI 信号を抜き差しした場合、音声が出力されるまでに時間は掛かりません。

### 6.3 音声リモート入力 (AUDIO MODE)

音声モードをリモート制御して使用する場合、エンコーダ1は音声リモート入力端子 に、エンコーダ2は音声リモート入力端子 にチューナ等から出力される音声モード接点信号のケーブルを接続してください。

設定方法はエンコーダ毎に異なります。エンコーダ1は「11.2.5 音声モードの設定」を、エンコーダ2は「11.3.5 音声モードの設定」を参照してください。

(1) 音声リモート入力端子のピン配置は下図の通りです。

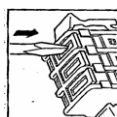


ピン番号	端子名
1	コモン (GND)
2	ステレオ
3	デュアル

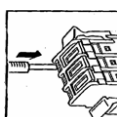
(2) 接続する線材の先端を約 10mm 剥きます。撚り線は軽く撚ってください。接続できる適用線材は下記の通りです。

適用線材	単線：直径 0.4mm (AWG26) ~ 直径 1.2mm (AWG16) 撚線：0.3mm <sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm <sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径 0.18 mm 以上
------	---

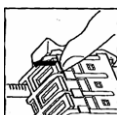
(3) 線材の接続方法は次の通りです。



ドライバーなどの工具を使ってリリースボタンを引っかかるまでまっすぐに押ししてください。



リリースボタンが凹んでいる状態で線材を奥まで差し込みます。撚り線は軽く撚ってください。



リリースボタンの上の爪を「カチッ」という音がするまで手前に引いて戻してください。

## 6.4 イーサネットポート (LAN (100/10))

SNMP マネージャにて機器を遠隔監視する場合、イーサネットポート をイーサネットケーブルでネットワークに接続してください。この製品を複数台使用する場合は、ハブを使用してください。

接続ケーブルには PC と直結する場合はクロスケーブルを、ハブを使用する場合はストレートケーブルを使用してください。

## 6.5 TS 出力 (TS OUT)

館内 OFDM 自主放送システムの OFDM 変調器に BNC 型コネクタを用いて接続して使用します。

この製品より出力される PSI は、次の PID が自動的に設定されます。

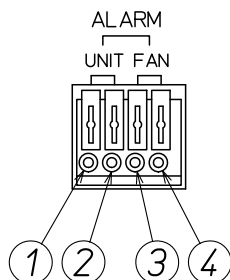
	PMT	映像	音声	PCR	サービス ID
エンコーダ 1	0x081	0x0021	0x0031	0x0041	001
エンコーダ 2	0x082	0x0022	0x0032	0x0042	002

## 6.6 アラーム出力 (ALARM)

アラーム出力端子<sup>24</sup> から出力される接点出力を使用して機器監視を行う場合、接点監視を行う機器に線材を接続してください。

使用方法は、「12.1 アラーム接点の使用方法」を参照してください。

(1) アラーム出力端子のピン配置は下図の通りです。



ピン番号	端子名
1	UNIT アラーム出力端子
2	
3	FAN アラーム出力端子
4	

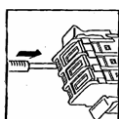
(2) 接続する線材の先端を約 10mm 剥きます。撚り線は軽く撚ってください。

適用線材	単線：直径 0.4mm (AWG26) ~ 直径 1.2mm (AWG16) 撚線：0.3mm <sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm <sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径 0.18 mm 以上
------	---

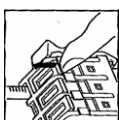
(3) 線材の接続方法は次の通りです。



ドライバーなどの工具を使ってリリースボタンを引っかかるまでまっすぐに押ししてください。



リリースボタンが凹んでいる状態で線材を奥まで差し込みます。撚り線は軽く撚ってください。



リリースボタンの上の爪を「カチッ」という音がするまで手前に引いて戻してください。



## 6.7 コンソール (CONSOLE)

機器の IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイの変更を行う場合、パソコンに接続して使用します。前面パネルのコンソール とパソコンの COM 端子を、RS-232C ケーブル (ストレート 9P) で接続してください。

使用方法は「12.2 コンソールの使用方法」を参照してください。

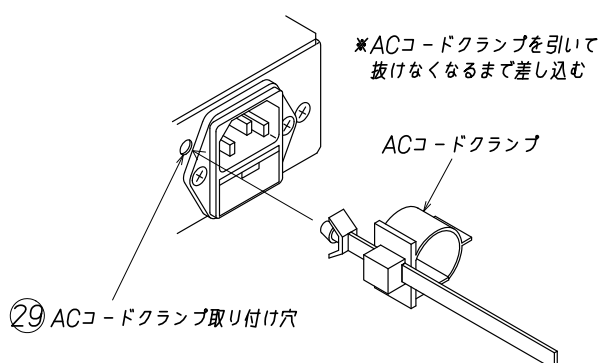
### 【注意】

IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイは、前面パネルの蛍光表示管 から変更できません。

## 6.8 電源コード (AC100V IN)

(1) AC100V 入力端子 (3P) ⑳に付属の AC コードを接続してください。

(2) AC コードクランプ取り付け穴 ㉑に付属の AC コードクランプを差し込み、AC コードを AC コードクランプで固定してください。取り付け方法は下図の通りです。



### 【注意】

AC コードクランプは一度取り付けますと取り外しができません。固定部分 (リング状の部分) が AC コード側になるよう向きに注意して取り付けてください。

(3) AC コードをコンセントに差し込んでください。

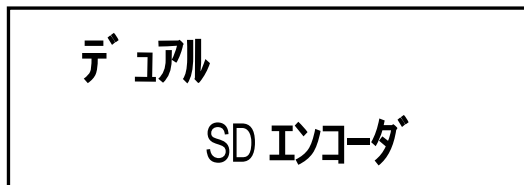
### 【注意】

AC コードは必ず付属品を使用してください。3P コンセントに接続し、必ず接地を行なってください。

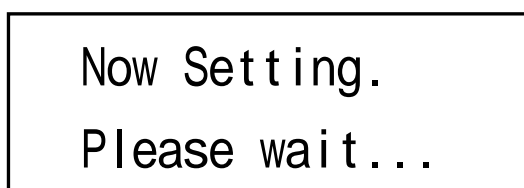
## 7. 運転

### 7.1 運転

- (1)この製品の電源スイッチ をONします。電源表示 の「POWER」LED（緑）が点灯し、前面パネルの蛍光表示管 に、次の起動画面（機器名称）が10数秒後に表示されます。同時に後面パネルにある冷却用ファン<sup>②</sup>が始動します。

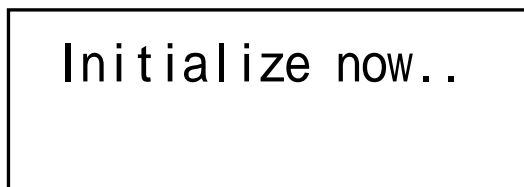


- (2)次に機器内の初期設定が行われ処理に 10 数秒を要します。設定処理中は、次の起動画面（設定中）が表示されます。

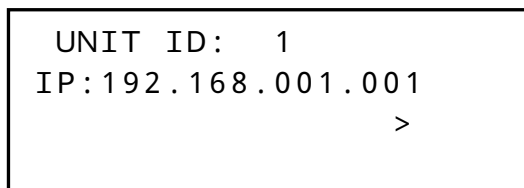


#### 【注意】

ソフトウェアのバージョンアップが正常に終了しなかったときなどソフトウェアが破損した場合、正常に起動できなくなりますが、機器内のソフトウェアを修復して起動することができます。設定処理中は、次の初期化画面が表示されます。ただし、条件により修復できない場合もあります。



- (3)蛍光表示管 に、次のトップ画面が表示されていれば正常です。



### 7.2 停止

この製品の電源スイッチ をOFFすると動作を停止します。

### 7.3 冷却用ファンの保守

この製品に使用している冷却用ファン<sup>②⑥</sup>は、消耗品のため「FAN異常」の発生に関わらず、6年毎に冷却用ファンを交換してください。交換手順は以下の通りです。

#### 7.3.1 冷却用ファンの取り外し

安全に交換作業を行うために、作業手順通りに実施してください。

- (1) ファン制御用コネクタ<sup>②⑤</sup>のロックを解除しながら取り外します。
- (2) 冷却用ファン<sup>②⑥</sup>を固定しているネジをフィンガーガードと一緒に取り外します。

#### 警告

・必ずファン制御用コネクタを取り外してから、冷却用ファンを取り外してください。

#### 7.3.2 冷却用ファンの取り付け

安全に交換作業を行うために、作業手順通りに実施してください。

- (1) フィンガーガードを冷却用ファン<sup>②⑥</sup>と一緒にネジで締め付けます。締め付けトルクは $0.7\text{N}\cdot\text{m}$  ( $7.1\text{kgf}\cdot\text{cm}$ )。ファン制御用ハーネスが左側（ファン制御用コネクタ側）にくるように、取り付け向きに注意してください。
- (2) ファン制御用ハーネスをファン制御用コネクタ<sup>②⑤</sup>に差し込みます。

#### 警告

・必ず冷却用ファンを取り付けた後、ファン制御用コネクタを取り付けてください。

#### 7.3.3 冷却用ファンの交換について

「FAN異常」の発生に関係なく、6年を目安に新しい冷却用ファンと交換してください。交換用の冷却用ファンは、次の品名で注文してください。

品 名：保守用横型ファン（5V）  
コード：00-65-168

#### 【注意】

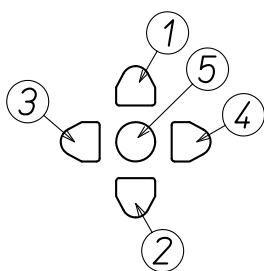
冷却用ファンは、指定以外のものを取り付けないでください。機器の故障・破損・発熱などの原因になります。

## 8 . 操作

前面パネルの蛍光表示管 の画面を操作する設定ボタン と、蛍光表示管 および蛍光表示管に表示される画面について説明します。前面パネルにある LED で入力信号の状態を確認する方法について説明します。機器設定の手順について説明します。

### 8.1 設定ボタン

前面パネルにある設定ボタン の「上(UP)」「下(DOWN)」「左(LEFT)」「右(RIGHT)」「決定(ENTER)」の5つのボタンを使用して、蛍光表示管 に表示されるトップ画面とメニュー画面の画面切り換え、設定値の選択などに使用します。



	ボタン名称	機能概要
	上(UP)	<ul style="list-style-type: none"><li>・トップ画面からメニュー画面に切り換えます。</li><li>・メニュー画面のカーソル&gt;位置を上へ移動し、メニューの選択や機器設定に使用します。</li></ul>
	下(DOWN)	<ul style="list-style-type: none"><li>・トップ画面からメニュー画面に切り換えます。</li><li>・メニュー画面のカーソル&gt;位置を下へ移動し、メニューの選択や機器設定に使用します。</li></ul>
	左(LEFT)	<ul style="list-style-type: none"><li>・トップ画面では前の画面を表示します。</li><li>・メニュー画面では前のメニュー画面に戻ります</li><li>・メニュー画面からトップ画面に切り換えます。</li><li>・IP アドレス設定などでカーソル位置を左へ移動します。</li></ul>
	右(RIGHT)	<ul style="list-style-type: none"><li>・トップ画面では先の画面を表示します。</li><li>・メニュー画面では先のメニュー画面に進みます。</li><li>・IP アドレス設定などでカーソル位置を右へ移動します。</li></ul>
	決定(ENTER)	<ul style="list-style-type: none"><li>・カーソル&gt; が指し示すメニューの選択や機器設定の決定に使用します。</li></ul>

(4)設定メニューをキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 8.2 蛍光表示管

前面パネルの蛍光表示管 に表示される画面は、大きく「トップ画面」と「メニュー画面」の2種類に分類できます。トップ画面は機器設定情報および機器状態を表示する画面です。メニュー画面とは入力信号の切り換えや、各種機能の選択などの機器設定を行う画面です。

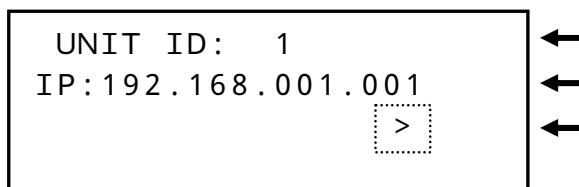
前面パネルの設定ボタン の無操作状態が約3分を経過した後、「11.4.3 蛍光表示管・待機表示の設定」で設定されたモードで蛍光表示管 の待機表示が制御されます。

### 8.3 蛍光表示管のトップ画面の表示説明

トップ画面は運用時に必要な情報をまとめて5画面で表示します。

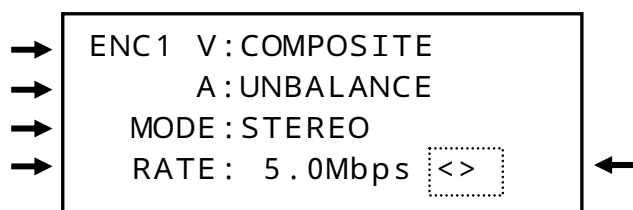
「左右」ボタンを押す毎に「トップ画面1」「トップ画面2」「トップ画面3」「トップ画面4」「トップ画面5」に切り換わり表示されます。

#### 8.3.1 トップ画面1の説明



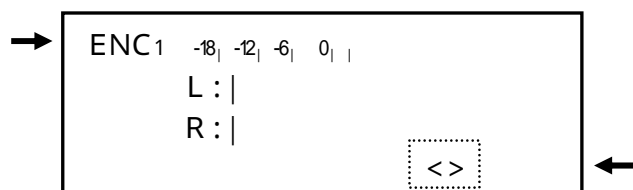
名 称	説 明
ユニット ID	設定されたユニット ID
IP アドレス	設定された IP アドレス
ページ表示	>印は次画面があることを示します。

#### 8.3.2 トップ画面2の説明



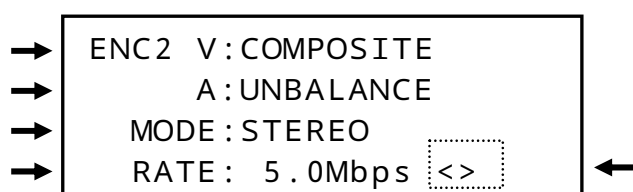
名 称	説 明
ENC1 映像入力信号	内蔵エンコーダ1の映像入力に選択された信号
ENC1 音声入力信号	内蔵エンコーダ1の音声入力に選択された信号
ENC1 音声モード	内蔵エンコーダ1の固定またはリモート制御された音声モード
ENC1 符号化レート	内蔵エンコーダ1の映像データ, 音声データ(固定)およびPSI データを含む符号化レート
ページ表示	<印は前画面があることを示します。 >印は次画面があることを示します。

### 8.3.3 トップ画面3の説明



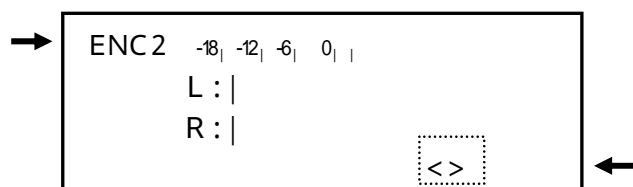
名 称	説 明
ENC1 音声入力レベル	内蔵エンコーダ1の入力された左右音声信号の利得調整後の音声レベルをピークインジケータで表示します。
ページ表示	<印は前画面があることを示します。 >印は次画面があることを示します。

### 8.3.4 トップ画面4の説明



名 称	説 明
ENC2 映像入力信号	内蔵エンコーダ2の映像入力に選択された信号
ENC2 音声入力信号	内蔵エンコーダ2の音声入力に選択された信号
ENC2 音声モード	内蔵エンコーダ2の固定またはリモート制御された音声モード
ENC2 符号化レート	内蔵エンコーダ2の映像データ、音声データ（固定）とPSIデータを含む符号化レート（ENC2が停止している場合OFFと表示されます。）
ページ表示	<印は前画面があることを示します。 >印は次画面があることを示します。

### 8.3.5 トップ画面5の説明



名 称	説 明
ENC2 音声入力レベル	内蔵エンコーダ2の入力された左右音声信号の利得調整後の音声レベルをピークインジケータで表示します。
ページ表示	<印は前画面があることを示します。

## 8.4 蛍光表示管のメニュー画面の表示説明

メニュー画面は、次の「設定表示」、「異常表示」、「機器設定」、「その他」の4種類のメニューで構成されます。

各メニュー画面のメニュー階層リストを記載していますので、参考にしてください。

>1:設定表示  
2:異常表示

メニュー名	概要
1:設定表示	機器に設定されたパラメータを確認します。
2:異常表示	機器内で発生した異常項目を確認します。
3:機器設定	機器の運用に必要な各種設定を行います。
4:その他	機器のソフトウェアバージョンを確認できます。 蛍光表示管の表示設定を行います。 機器をリセットして工場出荷状態します。

「1:設定表示」のメニュー画面は「9.機器設定の確認」を参照してください。

「2:異常表示」のメニュー画面は「10.異常表示の確認」を参照してください。

「3:機器設定」、「4:その他」のメニュー画面は「11.機器設定」を参照してください。

### 【注意】

メニュー画面で無操作状態が30秒以上経過すると、自動的にトップ画面に切り換わります。

## 8.5 蛍光表示管の画面切り換え

### 8.5.1 蛍光表示管のトップ画面への切り換え

(1) 次の通りメニュー画面が表示されている状態で、設定ボタン の「左」ボタンを押します。表示が下位層のメニュー画面にある場合は、「左」ボタンを連続して押します。

>1: 設定表示  
2: 異常表示

(2) トップ画面に切り換ります。

```
UNIT ID:  1  
IP: 192.168.001.001  
>
```

### 8.5.2 蛍光表示管のメニュー画面への切り換え

(1) 次の通りトップ画面が表示されている状態で、設定ボタン の「上下」ボタンを押します。

```
UNIT ID:  1  
IP: 192.168.001.001  
>
```

(2) メニュー画面に切り換ります。

>1: 設定表示  
2: 異常表示



## 8.6 機器のシステム情報を設定する

システム情報のユニット ID を設定します。設定方法は「11.1 システム設定」を参照してください。

### 8.6.1 遠隔監視(SNMP)を設定する

SNMP マネージャにて機器を遠隔監視する場合、次のシステム情報を設定します。設定方法は「11.1 システム設定」を参照してください。

- ・ IP アドレス, サブネットマスク, デフォルトゲートウェイ (IP アドレス: 重複禁止)
- ・ UDP/TCP ポート (デフォルト可)
- ・ LAN (デフォルト可)
- ・ SNMP マネージャ (SNMP マネージャ 1, SNMP マネージャ 2)

#### 【注意】

SNMP マネージャは最大 2 つまで設定できます。

## 8.7 エンコーダ 1 を使用する

エンコーダ 1 を使用する場合、次の項目を設定します。

設定方法は「11.2 エンコーダ 1 設定」を参照してください。

- ・ 映像入力信号
- ・ 映像 Y/C 分離フィルタ
- ・ 映像アスペクト比
- ・ 音声入力信号
- ・ 音声利得
- ・ 音声モード (リモート制御可能)
- ・ 符号化レート

## 8.8 エンコーダ 2 を使用する

エンコーダ 2 を使用する場合、次の項目を設定します。

設定方法は「11.3 エンコーダ 2 設定」を参照してください。

- ・ 映像入力信号
- ・ 映像 Y/C 分離フィルタ
- ・ 映像アスペクト比
- ・ 音声入力信号
- ・ 音声利得
- ・ 音声モード (リモート制御可能)
- ・ 符号化レート

## 8.9 入力信号状態の確認

前面パネルにある LED で入力信号の状態を確認できます。その確認方法について説明します。

### 8.9.1 SDI 信号の確認方法

エンコーダ1の映像入力端子(SDI) に入力されるSD-SDI信号を検出します。入力信号検出時にはSDI表示(緑) のLEDが点灯します。

エンコーダ2の映像入力端子(SDI)<sup>②</sup> に入力されるSD-SDI信号を検出します。入力信号検出時にはSDI表示(緑) のLEDが点灯します。

SDI表示(緑) およびSDI表示(緑) のLEDが消灯している場合、次の原因が考えられますので確認してください。

- ・入力信号の選択違い (NTSCコンポジット選択時)
- ・入力信号の未接続
- ・入力SDI信号のレベル異常
- ・機器の故障

### 8.9.2 映像信号の確認方法

エンコーダ1の映像入力端子(SDI) に入力されるSD-SDI信号、または映像入力端子(コンポジット) に入力されるNTSCコンポジット映像信号の映像シンクを検出します。エンコーダ1の映像シンク検出時には映像シンク表示(緑) のLEDが点灯します。

エンコーダ2の映像入力端子(SDI)<sup>②</sup> に入力されるSD-SDI信号、または映像入力端子(コンポジット)<sup>③</sup> に入力されるNTSCコンポジット映像信号の映像シンクを検出します。エンコーダ2の映像シンク検出時には映像シンク表示(緑) のLEDが点灯します。

映像シンク表示LEDが点滅・消灯しているとき、次の原因が考えられますのでご確認ください。

- ・入力信号の選択違い
- ・入力信号の未接続
- ・ビデオフォーマット違い (SDI選択時)
- ・入力コンポジット映像信号のレベル異常 (NTSCコンポジット選択時)
- ・機器の故障

### 8.9.3 音声レベルの確認方法

利得調整後の左右の音声信号レベルを、蛍光表示管 で表示できます。点灯するバーの数が多いほど音声信号のレベルが高いことを示します。エンコーダ1の音声レベルを確認する場合は、「8.3.3 トップ画面3の説明」を参照してください。エンコーダ2の音声レベルを確認する場合は、「8.3.5 トップ画面5の説明」を参照してください。

入力された音声信号の利得調整後の信号レベルが、L音声レベルまたはR音声レベルのどちらか一方でも最大入力レベルを超えた場合、アラーム表示(赤) のLEDが点灯します。アラーム表示(赤) のLEDが点灯する場合、音声利得を調整してアラーム表示(赤) のLEDが表示されないようにしてください。

エンコーダ1の音声利得を調整する場合は、「11.2.2 音声利得の設定」を参照してください。

エンコーダ2の音声利得を調整する場合は、「11.3.2 音声利得の設定」を参照してください。

音声利得を調整してもアラーム表示(赤) のLEDが表示する場合は、次の原因が考えられますのでご確認ください。

- ・入力音声信号のレベル異常
- ・機器の故障

#### 【注意】

入力音声信号にSDI信号に重畳された音声信号を使用する場合、音声レベルは表示されますが、音声利得の調整はできません。

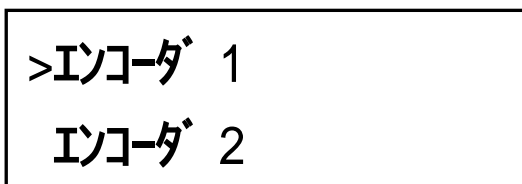
## 9 . 機器設定の確認

機器に設定された設定情報を蛍光表示管 で参照できます。

### 9.1 機器設定の確認方法

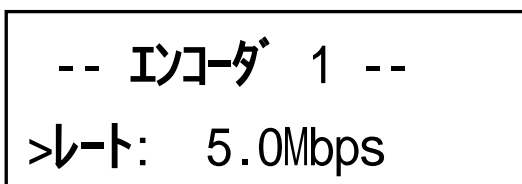
(1)メニュー画面から「1:設定表示」を選択します。

(2)次の設定表示画面が表示されます。設定ボタン の「上下」ボタンで表示する設定項目を選択し、設定ボタン の「決定」ボタンを押します。



>インコーダ 1  
インコーダ 2

(3)設定ボタン の「上下」ボタンで、設定項目毎に設定情報が切り換え表示されます。



-- インコーダ 1 --  
>レート: 5.0Mbps

(4)設定表示画面から画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

#### 【お願い】

設定情報の表示は、「9.2 設定表示のメニュー階層」を参照してください。

## 9.2 設定表示のメニュー階層

階層 1	階層 2	概要
エンコーダ 1	レート:	エンコーダ 1 の符号化レートの設定値
	音声レート:	エンコーダ 1 の音声符号化レート表示 (固定値: 144Kbps)
	音声利得:	エンコーダ 1 の音声利得設定値
	映像:	エンコーダ 1 の映像入力設定値
	音声:	エンコーダ 1 の音声入力設定値
	音声モード:	エンコーダ 1 の音声モード設定値
	Y/C 分離フィルタ:	エンコーダ 1 の Y/C 分離フィルタ設定値
	アスペクト比:	エンコーダ 1 のアスペクト比設定値
エンコーダ 2	レート:	エンコーダ 2 の符号化レートの設定値
	音声レート:	エンコーダ 2 の音声符号化レート表示 (固定値: 144Kbps)
	音声利得:	エンコーダ 2 の音声利得設定値
	映像:	エンコーダ 2 の映像入力設定値
	音声:	エンコーダ 2 の音声入力設定値
	音声モード:	エンコーダ 2 の音声モード設定値
	Y/C フィルタ:	エンコーダ 2 の Y/C 分離フィルタ設定値
	アスペクト比:	エンコーダ 2 のアスペクト比設定値
システム	IP アドレス:	IP アドレス設定値
	サブネットマスク:	サブネットマスク設定値
	デフォルトゲートウェイ:	デフォルトゲートウェイ設定値
	TCP PORT:	EPG コントローラ接続用 TCP ポート設定値
	UDP PORT:	EPG コントローラ接続用 UDP ポート設定値
	LAN Speed/Dup:	LAN Speed & Duplex 設定値
	SNMP マネージャ 1:	SNMP マネージャ 1 の IP アドレス設定値
	SNMP マネージャ 2:	SNMP マネージャ 2 の IP アドレス設定値
	UNIT ID:	ユニット ID 設定値

## 10. 異常表示の確認

機器に異常が発生すると前面パネルのアラーム表示(赤) のLED が点灯します。  
その場合、蛍光表示管 で異常表示を確認できます。

### 警告

・「FAN 異常」の異常が表示された場合、冷却用ファン<sup>(26)</sup>を交換してください。冷却用ファンの異常が発生している状態のまま使用されると故障の原因になります。

### 10.1 異常表示の確認方法

(1)メニュー画面から「2:異常表示」を選択します。

(2)次の異常表示画面が表示されます。異常が複数発生している場合、設定ボタン の「上下」ボタンで異常表示を切り換えて確認できます。(例：映像 SYNC 異常)

**異常行-タ**  
**映像 SYNC1 異常**

(3)設定表示画面から画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

#### 【お願い】

異常表示から異常内容を確認するには、「10.2 異常表示のメニュー階層」を参照してください。

### 10.2 異常表示のメニュー階層

表示内容	概要
AAC デバイス 1 異常	エンコーダ 1 の AAC デバイスに異常があります。
AAC デバイス 2 異常	エンコーダ 2 の AAC デバイスに異常があります。
SDI 入力 1 異常	エンコーダ 1 の SD-SDI 信号がありません。
SDI 入力 2 異常	エンコーダ 2 の SD-SDI 信号がありません。
映像 SYNC1 異常	エンコーダ 1 の NTSC コンポジット映像信号がありません。
映像 SYNC2 異常	エンコーダ 2 の NTSC コンポジット映像信号がありません。
音声 SYNC1 異常	エンコーダ 1 の SD-SDI エンベデッド音声信号がありません。
音声 SYNC2 異常	エンコーダ 2 の SD-SDI エンベデッド音声信号がありません。
FAN 異常	冷却用ファンの回転数が低下しています。早急に冷却用ファンを交換してください。
左音声レベル 1 OVER	エンコーダ 1 の左(主)音声入力レベルがオーバーしています。
左音声レベル 2 OVER	エンコーダ 2 の左(主)音声入力レベルがオーバーしています。
右音声レベル 1 OVER	エンコーダ 1 の右(副)音声入力レベルがオーバーしています。
右音声レベル 2 OVER	エンコーダ 2 の右(副)音声入力レベルがオーバーしています。
異常なし	異常はありません。

#### 【注意】

上記の表示内容以外の異常が表示される場合があります。

## 11. 機器設定

### 11.1 システム設定

この製品を使用するために必要なシステム設定について説明します。  
システム設定は、蛍光表示管 の画面表示をメニュー画面に切り換えて行います。

#### 11.1.1 ユニット ID の設定

ユニット ID は機器を管理するために使用します。機器毎に個別の値を設定します。

##### 【注意】

- ・この製品を含め他の館内 OFDM 自主放送システム機器を複数使用される場合は、機器の管理を行うため機種に関係なく個別の値を設定してください。
- ・1台のみ使用される場合は、デフォルトの状態で使用してください。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「13:UNIT ID」を選択します。

(2)次のユニット ID 設定画面が表示されます。(出荷時設定:1)

```
-- UNIT ID --  
1 -> 1
```

(3)設定ボタン の「上下」ボタンで、ユニット ID を変更します。下図はユニット ID を「10」に変更した場合を示します。ユニット ID は「1~99」の範囲で設定します。

```
-- UNIT ID --  
1 -> 10
```

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。  
ユニット ID の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.1.2 IPアドレスの設定

IPアドレスは、次の機能を使用する場合は必ず設定してください。

- ・SNMP マネージャを使用して機器を遠隔監視する。
- ・専用ソフトを使用してソフトウェアをバージョンアップする。

#### 【注意】

- ・この製品を含め他の館内 OFDM 自主放送システム機器を複数使用される場合、IP アドレスが重複しないように設定してください。
- ・IP アドレスに「000.000.000.000」を設定すると「設定値が異常です」が表示されます。正しい値を設定してください。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「1:IPアドレス」を選択します。

(2)次の IP アドレス設定画面が表示されます。点滅した文字がカーソルの位置です。

- IP アドレス - 192.168.001.001
--------------------------------

(出荷時設定：192.168.001.001)

(3)設定ボタン の「左右」ボタンでカーソルを移動させて、「上下」ボタンで IP アドレスを変更します。下図は IP アドレスを「192.168.001.020」に変更した場合を示します。

- IP アドレス - 192.168.001.020
--------------------------------

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

IP アドレスの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.1.3 サブネットマスクの設定

サブネットマスクは、必要に応じて設定してください。正しく設定されていないと「設定値が異常です」が表示されます。正しい値を設定してください。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「2:サブネットマスク」を選択します。

(2)次のサブネットマスク設定画面が表示されます。点滅した文字がカーソルの位置です。

- サブネットマスク -  
255.255.255.000

(出荷時設定 : 255.255.255.000)

(3)設定ボタン の「左右」ボタンでカーソルを移動させて、「上下」ボタンでサブネットマスクを変更します。下図はサブネットマスクを「255.255.240.000」に変更した場合を示します。

- サブネットマスク -  
255.255.240.000

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

サブネットマスクの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。



#### 11.1.4 デフォルトゲートウェイの設定

デフォルトゲートウェイは、必要に応じて設定してください。正しく設定されていないと「設定値が異常です」が表示されます。正しい値を設定してください。

- (1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「3:デフォルトゲートウェイ」を選択します。
- (2)次のデフォルトゲートウェイ設定画面が表示されます。点滅した文字がカーソルの位置です。

- デフォルトゲートウェイ -  
000.000.000.000

(出荷時設定：000.000.000.000)

- (3)設定ボタン の「左右」ボタンでカーソルを移動させて、「上下」ボタンでデフォルトゲートウェイを変更します。下図はデフォルトゲートウェイを「192.168.001.200」に変更した場合を示します。

- デフォルトゲートウェイ -  
192.168.001.200

- (4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。  
デフォルトゲートウェイの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.1.5 TCP 受信ポートの設定

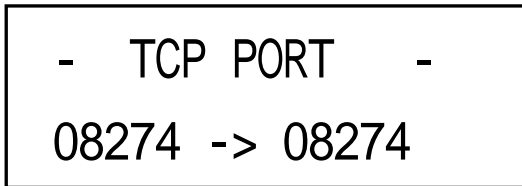
通常 TCP 受信ポートは、デフォルトを使用します。必要な場合のみ設定を変更します。

#### 【注意】

TCP 受信ポートに 1000 以下の値を設定すると「設定値が異常です」が表示されます。1001 以上の値を設定してください。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「4:TCP PORT」を選択します。

(2)次の TCP ポート設定画面が表示されます。点滅した文字がカーソルの位置です。(出荷時設定：8274)



```
- TCP PORT -  
08274 -> 08274
```

(3)設定ボタン の「上下」ボタンで TCP ポートを変更します。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

TCP ポートの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.1.6 UDP 送信ポートの設定

通常 UDP 送信ポートは、デフォルトを使用します。必要な場合のみ設定を変更します。

#### 【注意】

UDP 受信ポートに 1000 以下の値を設定すると「設定値が異常です」が表示されます。1001 以上の値を設定してください。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「5:UDP PORT」を選択します。

(2)次の UDP ポート設定画面が表示されます。点滅した文字がカーソルの位置です。(出荷時設定：8274)



```
- UDP PORT -  
08274 -> 08274
```

(3)設定ボタン の「上下」ボタンで UDP ポートを変更します。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

UDP ポートの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.1.7 イーサネットの回線速度とデュプレックスの設定

イーサネットの回線速度とデュプレックス・モード（半二重/全二重）を設定します。必要に応じて変更します。

#### 警告

・設定を変更した場合、再起動が自動的に行われますので、運用中での変更はご注意ください。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「6:LAN(再起動)」を選択します。

(2)次のイーサネットの回線速度とデュプレックス設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンでイーサネットの回線速度とデュプレックス・モードを変更します。

設定モード	動作概要
Auto (出荷時設定)	回線速度およびデュプレックスをオートネゴシエーションで決定します。
10BASE-T Half	回線速度を 10Mbps に設定し、ポートを半二重固定モードに設定します。
10BASE-T Full	回線速度を 10Mbps に設定し、ポートを全二重固定モードに設定します。
100BASE-Tx Half	回線速度を 100Mbps に設定し、ポートを半二重固定モードに設定します。
100BASE-Tx Full	回線速度を 100Mbps に設定し、ポートを全二重固定モードに設定します。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

イーサネットの回線速度とデュプレックスの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

(5)機器が自動的に再起動します。

### 11.1.8 SNMP マネージャの設定

この製品を遠隔にて監視する場合、TRAP 送出先の SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。最大 2 つの SNMP マネージャを登録できます。

SNMP MIB 仕様については「15.付録 (MIB 仕様)」を参照してください。

#### 11.1.8.1 SNMP マネージャ 1 の設定

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「7:SNMP マネージャ 1」を選択します。

(2)次の SNMP マネージャ 1 設定画面が表示されます。点滅した文字がカーソルの位置です。

- SNMP マネージャ 1 -  
000.000.000.000

(出荷時設定 : 000.000.000.000)

(3)設定ボタン の「左右」ボタンでカーソルを移動させて、「上下」ボタンで SNMP マネージャ 1 の IP アドレスを変更します。下図は SNMP マネージャ 1 の IP アドレスを「192.168.002.200」に変更した場合を示します。

- SNMP マネージャ 1 -  
192.168.002.200

#### 【注意】

SNMP マネージャ 1 を使用しない場合は、IP アドレスを「000.000.000.000」に設定してください。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

SNMP マネージャ 1 の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.1.8.2 SNMP マネージャ 2 の設定

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「5:システム設定」「8:SNMP マネージャ 2」を選択します。

(2)次の SNMP マネージャ 2 設定画面が表示されます。点滅した文字がカーソルの位置です。

- SNMP マネージャ 2 -  
000.000.000.000

(出荷時設定 : 000.000.000.000)

(3)設定ボタン の「左右」ボタンでカーソルを移動させて、「上下」ボタンで SNMP マネージャ 2 の IP アドレスを変更します。下図は SNMP マネージャ 2 の IP アドレスを「192.168.003.100」に変更した場合を示します。

- SNMP マネージャ 2 -  
192.168.003.100

#### 【注意】

SNMP マネージャ 2 を使用しない場合は、IP アドレスを「000.000.000.000」に設定してください。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

SNMP マネージャ 2 の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

## 11.2 エンコーダ1設定

エンコーダ1を使用するのに必要なエンコーダ設定について説明します。

エンコーダ1設定は、蛍光表示管の画面表示をメニュー画面に切り換えて行います。

### 【注意】

エンコーダ1は未使用に設定できません。

### 11.2.1 符号化レートの設定

エンコーダ1から出力されるエンコード後の符号化レート(音声データとPSIデータを含む)を設定します。

### 【注意】

映像符号化レートを設定しますが、必ず音声データ(固定)とPSIデータが含まれます。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「1:エンコーダ1設定」「1-1:符号化レート」を選択します。

(2)次の符号化レート設定画面が表示されます。(出荷時設定:5)



(3)設定ボタンの「上下」ボタンで符号化レートを変更します。下図は符号化レートを「4.5Mbps」に変更した場合を示します。符号化レートの設定範囲は下表の通りです。



符号化レート	設定間隔
2.0~8.0Mbps	0.5Mbps ステップ

### 【注意】

映像符号化レートを低レートに設定された場合、入力映像によってはブロックノイズなどが発生する可能性があります。

(4)設定ボタンの「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

符号化レートの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタンの「左」ボタンを押します。

## 11.2.2 音声利得の設定

入力されたアナログ音声信号が、エンコーダ1に最適な音声レベルで入力されるように音声利得を調整します。

### 【注意】

音声利得は左音声、右音声を個々に調整できません。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「1:エンコーダ1設定」「1-2:音声利得」を選択します。

(2)次の音声利得設定画面が表示されます。(出荷時設定:0)

AUDIO GAIN: 0 dB			
-18	-12	-6	0
L:	■		
R:	■		

(3)設定ボタン の「上下」ボタンで音声利得を変更します。下図は音声利得を「+6dB」に変更した場合を示します。音声利得の設定範囲は下表の通りです。

音声利得を調整することにより、同時に音声レベルのインジケータも変化します。

AUDIO GAIN: +6 dB			
-18	-12	-6	0
L:	■	■	
R:	■	■	

音声利得	設定間隔
-12 ~ +18dB	1dB ステップ

### 【注意】

入力音声信号に SDI 信号に重畳された音声信号を使用する場合、音声利得の調整はできません。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

音声利得の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.2.3 映像入力信号の設定

エンコーダ1の映像入力信号を設定します。

エンコーダ1の映像入力は、デジタルのSD-SDI信号またはアナログのNTSCコンポジット信号から選択します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「1:エンコーダ1設定」「1-3:映像入力」を選択します。

(2)次の映像入力信号設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで映像入力信号を変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
SD-SDI	SD-SDI 信号を設定します。
COMPOSITE(出荷時設定)	NTSC コンポジット信号を設定します。

#### 【注意】

SD-SDI 信号、コンポジット信号共にコネクタはBNCコネクタですので、接続するコネクタを間違わないように注意してください。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

映像入力信号の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。



#### 11.2.4 音声入力信号の設定

エンコーダ1の音声入力信号を設定します。

エンコーダ1の音声入力は、デジタルのSD-SDIエンベデッド信号またはアナログの600 平衡信号(BAL), または不平衡信号 (UNBAL) から選択します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「1:エンコーダ1設定」「1-4:音声入力」を選択します。

(2)次の音声入力信号設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで音声入力信号を変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
Embedded	SD-SDI に重畳されたエンベデッド信号を設定します。
BALANCE	アナログの600 平衡信号 (BAL) を設定します。
UNBALANCE (出荷時設定)	アナログの不平衡信号 (UNBAL) を設定します。

#### 【注意】

音声入力に Embedded を選択するには、映像入力に SD-SDI を選択してください。映像入力に SD-SDI が選択されていないと、Embedded が表示されません。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

音声入力信号の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

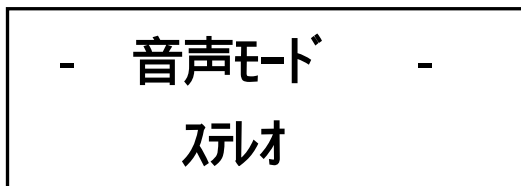
#### 11.2.5 音声モードの設定

エンコーダ1の音声モードを設定します。

エンコーダ1の音声モードは、固定のステレオ、デュアル、モノラルとリモート制御(接点)から選択します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「1:エンコーダ1設定」「1-5:音声モード」を選択します。

(2)次の音声モード設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで音声モードを変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
ステレオ (出荷時設定)	ステレオ固定に設定します。
デュアル	デュアル(二ヶ国語)固定に設定します。
モノラル	モノラル固定に設定します。
リモート	音声リモート端子に設定します。入力された外部からの音声リモート信号(接点)により制御されます。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

音声モードの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

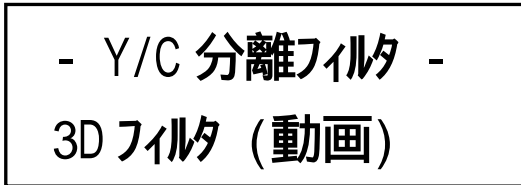
### 11.2.6 映像Y/C分離フィルタの設定

エンコーダ1の映像Y/C分離フィルタを設定します。

エンコーダ1の映像Y/C分離フィルタは、入力されるアナログのNTSCコンポジット信号の映像内容（動画/静止画）などから設定します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「1:エンコーダ1設定」「1-6:Y/C分離フィルタ」を選択します。

(2)次の映像Y/C分離フィルタ設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで映像Y/C分離フィルタを変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
3D フィルタ(動画) (出荷時設定)	映像Y/C分離フィルタを3次元フィルタ(動画)に設定します。
3D フィルタ(静止画)	映像Y/C分離フィルタを3次元フィルタ(静止画)に設定します。
2D ノイズリダクション	映像Y/C分離フィルタを2次元ノイズリダクションに設定します。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

映像Y/C分離フィルタの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

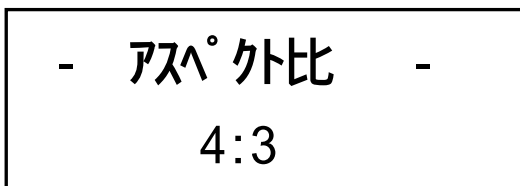
### 11.2.7 映像アスペクト比の設定

エンコーダ1の映像アスペクト比を設定します。

入力される映像信号がエンコーダ1でエンコードされる映像アスペクト比を設定します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「1:エンコーダ1設定」「1-7:アスペクト比」を選択します。

(2)次の映像アスペクト比設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで映像アスペクト比を変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
4:3 (出荷時設定)	映像アスペクト比を4:3に設定します。
16:9	映像アスペクト比を16:9に設定します。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

映像アスペクト比の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.3 エンコーダ2設定

エンコーダ2を使用するのに必要なエンコーダ設定について説明します。

エンコーダ2設定は、蛍光表示管の画面表示をメニュー画面に切り換えて行います。

#### 【エンコーダ2の未使用について】

エンコーダ2は未使用に設定できます。

エンコーダ2を未使用にするには、符号化レートを「0.0Mbps」に設定します。未使用にすると入力信号異常などが表示されなくなります。

#### 警告

- ・エンコーダ2の使用/未使用を設定された場合、設定処理中はエンコーダ1の出力が停止します。エンコーダ1を使用中はご注意ください。

#### 11.3.1 符号化レートの設定

エンコーダ2から出力されるエンコード後のレート（音声データとPSIデータを含む）を設定します。

#### 【注意】

映像符号化レートを設定しますが、必ず音声データ（固定）とPSIデータが含まれます。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「2:エンコーダ2設定」「2-1:符号化レート」を選択します。

(2)次の符号化レート設定画面が表示されます。（出荷時設定：5）



(3)設定ボタンの「上下」ボタンで符号化レートを変更します。下図は符号化レートを「4.5Mbps」に変更した場合を示します。符号化レートの設定範囲は下表の通りです。



符号化レート	設定間隔
2.0~8.0Mbps	0.5Mbps ステップ

#### 【注意】

映像符号化レートを低レートに設定された場合、入力映像によってはブロックノイズなどが発生する可能性があります。

(4)設定ボタンの「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

符号化レートの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタンの「左」ボタンを押します。

### 11.3.2 音声利得の設定

入力されたアナログ音声信号が、エンコーダ2に最適な音声レベルで入力されるように音声利得を調整します。

#### 【注意】

音声利得は左音声、右音声を個々に調整できません。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「2:エンコーダ2設定」「2-2:音声利得」を選択します。

(2)次の音声利得設定画面が表示されます。(出荷時設定:0)

AUDIO GAIN: 0 dB	
-18   -12   -6   0	
L :	■
R :	■

(3)設定ボタン の「上下」ボタンで音声利得を変更します。下図は音声利得を「+6dB」に変更した場合を示します。音声利得の設定範囲は下表の通りです。

音声利得を調整することにより、同時に音声レベルのインジケータも変化します。

AUDIO GAIN: +6 dB	
-18   -12   -6   0	
L :	■ ■
R :	■ ■

音声利得	設定間隔
-12 ~ +18dB	1dB ステップ

#### 【注意】

入力音声信号に SDI 信号に重畳された音声信号を使用する場合、音声利得の調整はできません。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

音声利得の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.3.3 映像入力信号の設定

エンコーダ2の映像入力信号を設定します。

エンコーダ2の映像入力は、デジタルのSD-SDI信号またはアナログのNTSCコンポジット信号から選択します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「2:エンコーダ2設定」「2-3:映像入力」を選択します。

(2)次の映像入力信号設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで映像入力信号を変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
SD-SDI	SD-SDI 信号を設定します。
COMPOSITE(出荷時設定)	NTSC コンポジット信号を設定します。

#### 【注意】

SD-SDI 信号、コンポジット信号共にコネクタはBNCコネクタですので、接続するコネクタを間違わないように注意してください。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

映像入力信号の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.3.4 音声入力信号の設定

エンコーダ2の音声入力信号を設定します。

エンコーダ2の音声入力は、デジタルのSD-SDIエンベデッド信号またはアナログの600 平衡信号(BAL), または不平衡信号 (UNBAL) から選択します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」 「2:エンコーダ2 設定」 「2-4:音声入力」を選択します。

(2)次の音声入力信号設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで音声入力信号を変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
Embedded	SD-SDI に重畳されたエンベデッド信号を設定します。
BALANCE	アナログの600 平衡信号 (BAL) を設定します。
UNBALANCE(出荷時設定)	アナログの不平衡信号 (UNBAL) を設定します。

#### 【注意】

音声入力に Embedded を選択するには、映像入力に SD-SDI を選択してください。映像入力に SD-SDI が選択されていないと、Embedded が表示されません。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

音声入力信号の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

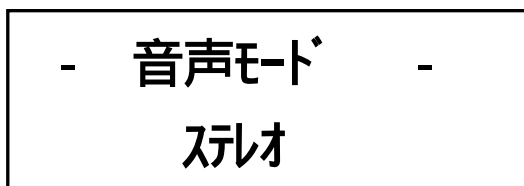
### 11.3.5 音声モードの設定

エンコーダ2の音声モードを設定します。

エンコーダ2の音声モードは、固定のステレオ、デュアル、モノラルとリモート制御（接点）から選択します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「2:エンコーダ2設定」「2-5:音声モード」を選択します。

(2)次の音声モード設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで音声モードを変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
ステレオ（出荷時設定）	ステレオ固定に設定します。
デュアル	デュアル（二ヶ国語）固定に設定します。
モノラル	モノラル固定に設定します。
リモート	音声リモート端子に設定します。入力された外部からの音声リモート信号（接点）により制御されます。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

音声モードの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

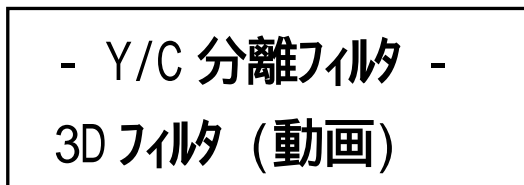
### 11.3.6 映像Y/C分離フィルタの設定

エンコーダ2の映像Y/C分離フィルタを設定します。

エンコーダ2の映像Y/C分離フィルタは、入力されるアナログのNTSCコンポジット信号の映像内容（動画/静止画）などから設定します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「2:エンコーダ2設定」「2-6:Y/C分離フィルタ」を選択します。

(2)次の映像Y/C分離フィルタ設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで映像Y/C分離フィルタを変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
3D フィルタ(動画) (出荷時設定)	映像Y/C分離フィルタを3次元フィルタ(動画)に設定します。
3D フィルタ(静止画)	映像Y/C分離フィルタを3次元フィルタ(静止画)に設定します。
2D ノイズリダクション	映像Y/C分離フィルタを2次元ノイズリダクションに設定します。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。  
映像Y/C分離フィルタの設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。



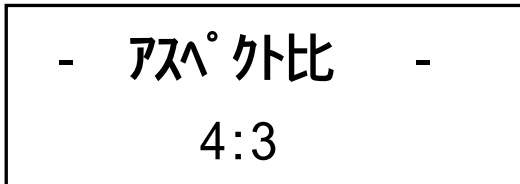
### 11.3.7 映像アスペクト比の設定

エンコーダ2の映像アスペクト比を設定します。

入力される映像信号がエンコーダ2でエンコードされる映像アスペクト比を設定します。

(1)メニュー画面から「3:機器設定」「2:エンコーダ2設定」「2-7:アスペクト比」を選択します。

(2)次の映像アスペクト比設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで映像アスペクト比を変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
4:3 (出荷時設定)	映像アスペクト比を 4:3 に設定します。
16:9	映像アスペクト比を 16:9 に設定します。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

映像アスペクト比の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

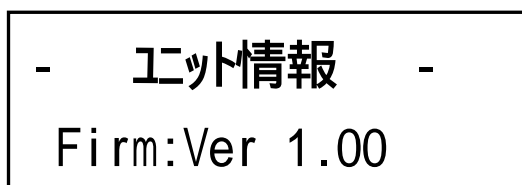
## 11.4 その他

### 11.4.1 ユニット情報(ソフトウェアバージョン)の確認

機器のソフトウェアバージョンを確認できます。

(1)メニュー画面から「4:その他」 「1:ユニット情報」を選択します。

(2)次のユニット情報表示設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンでユニット情報のソフトウェアを選択すると、各ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

ソフトウェア	動作概要
Firm	ファームウェア(組み込み)のバージョン情報
PLD	PLDのバージョン情報
AAC	AACエンコーダのバージョン情報
MAC アドレス	イーサネットポートのMACアドレス情報

(4)ユニット情報の確認をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

## 11.4.2 蛍光表示管・表示輝度の設定

蛍光表示管 の輝度を段階で調整できます。推奨設定は約 37.5%です。

(1)メニュー画面から「4:その他」 「2:表示輝度」を選択します。

(2)次の蛍光表示管・表示輝度設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで蛍光表示管 の表示輝度を変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
約 12.5%	蛍光表示管の輝度を約 12.5%に変更します。
約 25.0%	蛍光表示管の輝度を約 25.0%に変更します。
約 37.5% (出荷時設定)	蛍光表示管の輝度を約 37.5%に変更します。(推奨値)
約 50.0%	蛍光表示管の輝度を約 50.0%に変更します。
約 62.5%	蛍光表示管の輝度を約 62.5%に変更します。
約 75.0%	蛍光表示管の輝度を約 75.0%に変更します。
約 87.5%	蛍光表示管の輝度を約 87.5%に変更します。
100%	蛍光表示管の輝度を最大(100%)に変更します。

### 【お知らせ】

蛍光表示管は常時点灯させた場合、経年変化により徐々に輝度が落ちていきます。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

表示輝度の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

### 11.4.3 蛍光表示管・待機表示の設定

設定ボタンの無操作状態が約3分を経過すると、自動的に蛍光表示管が消灯状態に切り換わるスリープ機能を搭載しています。蛍光表示管の待機表示モードを設定します。

(1)メニュー画面から「4:その他」「3:待機表示」を選択します。

(2)次の待機表示設定画面が表示されます。



(3)設定ボタンの「上下」ボタンで蛍光表示管のスリープモードを変更します。設定モードは下表の通りです。

設定モード	動作概要
自動 OFF(出荷時設定)	無操作状態が約3分を経過すると自動的に蛍光表示管の表示を消灯します。
常時 ON	常に蛍光表示管の表示を点灯します。
低輝度モード	無操作状態が約3分を経過すると自動的に蛍光表示管の輝度を最小輝度に変更します。

#### 【お願い】

蛍光表示管は常時点灯させた場合、経年変化により徐々に輝度が落ちてきます。蛍光表示管の寿命を延ばすため、無操作状態が続いたとき蛍光表示管を消灯状態にする必要があります。デフォルトは「自動 OFF」です。「自動 OFF」を推奨します。

(4)設定ボタンの「決定」ボタンを押すと、「実行しました」画面が表示され設定されます。

待機表示の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタンの「左」ボタンを押します。

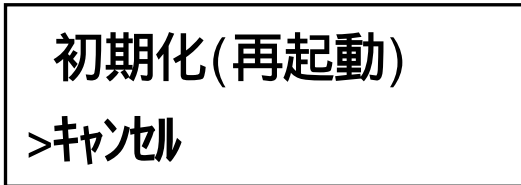
#### 11.4.4 ユニット初期化

この製品の各種設定を工場出荷状態に戻します。

(ただし、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは除く)

(1)メニュー画面から「4:その他」 「4:ユニット初期化」を選択します。

(2)次の機器初期化設定画面が表示されます。



(3)設定ボタン の「上下」ボタンで、機器を初期化する「実行」を選択します。

機器初期化をキャンセルして画面を元に戻すには、「キャンセル」を選択してください。

コマンド	動作概要
初期化(再起動)	この製品の各種情報を工場出荷状態に戻します。 (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは除く)
キャンセル	機器初期化をキャンセルします。

(4)設定ボタン の「決定」ボタンを押すと、「実行しました再起動します」画面が表示されます。

ユニット初期化の設定をキャンセルして画面を元に戻すには、設定ボタン の「左」ボタンを押します。

(5)機器が自動的に再起動します。

## 11.5 メニュー階層

### 11.5.1 機器設定のメニュー階層

階層 1	階層 2	概要
1:エンコーダ1 設定	1-1:符号化レート	エンコーダ1の符号化レートを設定
	1-2:音声利得	エンコーダ1の出力音声レベルを設定
	1-3:映像入力	エンコーダ1の映像入力信号を設定
	1-4:音声入力	エンコーダ1の音声入力信号を設定
	1-5:音声モード	エンコーダ1の音声モードを設定
	1-6:Y/C分離フィルタ	エンコーダ1のY/C分離フィルタを設定
	1-7:アスペクト比	エンコーダ1の映像アスペクト比を設定
2:エンコーダ2 設定	2-1:符号化レート	エンコーダ2の符号化レートを設定
	2-2:音声利得	エンコーダ2の出力音声レベルを設定
	2-3:映像入力	エンコーダ2の映像入力信号を設定
	2-4:音声入力	エンコーダ2の音声入力信号を設定
	2-5:音声モード	エンコーダ2の音声モードを設定
	2-6:Y/C分離フィルタ	エンコーダ2のY/C分離フィルタを設定
	2-7:アスペクト比	エンコーダ2の映像アスペクト比を設定
5:システム設定	1:IP アドレス	この製品のIPアドレスを設定
	2:サブネットマスク	この製品のサブネットマスクを設定
	3:デフォルトゲートウェイ	この製品のデフォルトゲートウェイを設定。
	4:TCP PORT	専用ソフトを使用してソフトウェアをバージョンアップするUDPポートを設定
	5:UDP PORT	リザーブ
	6:LAN (再起動)	LANポートのSpeed & Duplexを設定 (設定後、自動的に再起動を行います。)
	7:SNMP マネージャ 1	SNMP マネージャ 1のIPアドレスを設定
	8:SNMP マネージャ 2	SNMP マネージャ 2のIPアドレスを設定
	9:UNIT ID	機器の管理IDを設定

### 11.5.2 その他のメニュー階層

階層 1	概要
1:ユニット情報	この製品のソフトウェアバージョン情報
2:表示輝度	蛍光表示管の明るさ調整
3:待機表示	蛍光表示管の待機表示設定
4:ユニット初期化	機器を初期化します。自動的に再起動します。

## 12. 使用方法

### 12.1 アラーム接点の使用方法

機器の異常発生時の情報として、リレーの無電圧接点を出力できます。接点は後面パネルにあるアラーム出力端子 ⑳を通して出力されます。

この製品を複数台使用する場合、各機器の接点を並列に接続する (OR) ことにより、どれか1台が異常状態になるとメーク接点となります。

#### 【注意】

アラーム接点の性能は次の通りです。許容範囲内で使用してください。

許容電圧	DC+24V
許容電流	DC0.5A

#### 12.1.1 UNIT アラーム出力

次のユニット異常が発生したとき、後面パネルにあるアラーム出力端子 ㉑ の1-2番ピンからメーク接点(ショート)を出力し、正常時はブレーク(オープン)接点となります。

区 分	項 目	備 考
映像・音声入力 (エンコーダ1およびエンコーダ2)	SDI 入力異常	
	映像シンク異常	
	音声シンク異常	SDI 重畳音声のみ
ハードウェア	ハードウェア異常	
	電源OFF	

#### 【お願い】

異常内容については、「10.2 異常表示のメニュー階層」を参照してください。

#### 12.1.2 FAN アラーム出力

冷却用ファンの異常が発生したとき、後面パネルにあるアラーム出力端子 ㉒ の3-4番ピンからメーク接点(ショート)を出力し、正常時はブレーク(オープン)接点となります。

## 12.2 コンソールの使用方法

### 12.2.1 制御用 PC の設定

(1)RS-232C ケーブル(ストレート)を、この製品のコンソール と制御用 PC のシリアルポートに接続してください。

(2)制御用 PC のハイパーターミナルソフトなどを起動して、次のポート設定を行います。

項目	値
伝送速度 ( bps )	9600
データビット	8
パリティ	無し
ストップビット	1
フロー制御	無し

### 12.2.2 IP アドレス , サブネットマスク , デフォルトゲートウェイの設定

(1)この製品の電源を ON します。数十秒後に制御用 PC のハイパーターミナル画面に次の表示が出ます。この画面が出ることを確認して、制御用 PC から「Enter」を 2 回入力してください。

```
Configuration ROM Version x.xx
AAC : Version x.xx
BANK2 : ROM Version x.xx
BANK1 : PLD Version x.xx
MAC address : xx:xx:xx:xx:xx:xx
IP address : 192.168. 1. 1
Subnet mask : 255.255.255. 0
Default Gateway : 0. 0. 0. 0

SNMP Manager1 : Nothing
SNMP Manager2 : Nothing

UDP port : transmit 8274
TCP port : receive 8274

login:
```

(2)「Enter」を 2 回入力しますと、次の表示が出ます。デフォルトではパスワードは設定されていません。

```
Password:
>
```



(3) 「net」を入力すると、次のようなネットワーク設定用のメニュー表示が出ます。

```
>net
===== [Network Setting menu] =====
ip   ---  IP / Subnet mask / Default Gateway setting
      IP Set-> ex) ip 192.168.1.1
port ---  TCP/UDP connection port setting
ping ---  ping test : ex)ping xxx.xxx.xxx.xxx(IP address)
ns    ---  Network Status print
top   ---  Main menu
```

(4) IP アドレスを変更する場合は「ip xxx.xxx.xxx.xxx」 + 「Enter」を入力してください。  
x は 10 進数で入力してください。変更する必要が無い場合でも「ip xxx.xxx.xxx.xxx」 + 「Enter」で、現在の IP アドレスを入力してください。(設定例：IP アドレス 192.168.1.20)

```
>ip 192.168.1.20
```

(5) IP アドレスの設定が終了すると、続いてサブネットマスクの設定メニューが、次のように表示されます。

```
>ip 192.168.1.20
IP Address is : 192.168.1.20
now subnet mask : 255.255.255.0 ?['y' or address]
subnet mask :
>
```

(6) サブネットマスクを変更する場合は「xxx.xxx.xxx.xxx」 + 「Enter」を入力してください。  
x は 10 進数で入力してください。変更する必要が無い場合は、「y」 + 「Enter」を入力してください。  
(設定例：サブネットマスク 255.255.240.0)

```
subnet mask :
>255.255.240.0
```

(7) サブネットマスクの設定が終了すると、続いてデフォルトゲートウェイの設定メニューが、次のように表示されます。

```
subnet mask :
>255.255.240.0
subnet mask is : 255.255.240.0
now default gateway : 0.0.0.0 ?['y' or address]
default gateway :
>
```

- (8) デフォルトゲートウェイを変更する場合は「xxx.xxx.xxx.xxx」 + 「Enter」を入力してください。  
xは10進数で入力してください。変更する必要が無い場合は、「y」 + 「Enter」を入力してください。  
(設定例：デフォルトゲートウェイ 192.168.1.200)

```
default gateway :
>192.168.1.200
```

- (9) これで IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイの設定値の入力作業が完了し、確認のメニューが表示されます。表示された設定値が正しければ「y」 + 「Enter」を入力してください。訂正する場合は「n」 + 「Enter」を入力してください。

```
default gateway :
>192.168.1.200
default gateway : 192.168.1.200
[Ethernet Address  ] : [xx:xx:xx:xx:xx:xx]
[IP Address        ] : [192.168.1.1]
[Subnet Mask       ] : [255.255.240.0]
[Default Gateway   ] : [192.168.1.200]
設定しますか? [y] / [n]
>
```

- (10) 最後に「y」 + 「Enter」を入力して設定を確定します。すると「設定中...」の表示が出た後に「>」が表示されると IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの変更が完了しました。

```
設定しますか? [y] / [n]
>y
ping チェック中。
No answer
設定アドレスチェック完了。
設定中 ...
>
```

### 12.2.3 TCP/UDP ポートの設定

付属の機器設定ソフトにはデフォルト値が設定されています。必要に応じて変更してください。

- (1) 「12.2.2 IP アドレス, サブネットマスク, デフォルトゲートウェイの設定」の(3)まで同様の作業を行います。次のようなネットワーク設定用のメニュー表示が出ますので、「port」 + 「Enter」を入力してください。

```
>net
===== [Network Setting menu] =====
ip   --- IP / Subnet mask / Default Gateway setting
      IP Set-> ex) ip 192.168.1.1
port --- TCP/UDP connection port setting
ping --- ping test : ex)ping xxx.xxx.xxx.xxx(IP address)
ns    --- Network Status print
top   --- Main menu
```

- (2) 「port」を入力すると、次のように表示されます。TCP 受信ポートを変更する場合は「xxxx」 + 「Enter」を入力してください。xは10進数で入力してください。変更する必要が無い場合は、「y」 + 「Enter」を入力してください。(設定例：TCP 受信ポート 8260)

```
>port
TCP RCV Port is : 8274 ?['y' or new port]
TCP RCV Port :
>
```

- (3) TCP 受信ポートの設定が終了すると、続いてUDP 送信ポートの設定メニューが、次のように表示されます。UDP 送信ポートを変更する場合は「xxxx」 + 「Enter」を入力してください。xは10進数で入力してください。変更する必要が無い場合は、「y」 + 「Enter」を入力してください。(設定例：UDP 送信ポート 8258)

```
>8260
UDP Tx Port is : 8274
設定しますか? [y] / [n]
>
```

- (4) これで TCP/UDP ポートの設定値の入力作業が完了し、確認のメニューが表示されます。表示された設定値が正しければ「y」 + 「Enter」を入力してください。訂正する場合は「Enter」を入力してください。

```
>8258
TCP Rcv Port is : 8260
UDP Tx Port is : 8258 ?['y' or new port]
UDP Tx Port :
>
```

- (5) 最後に「y」 + 「Enter」を入力して設定を確定します。次の表示が出ると TCP/UDP ポートの変更が完了しました。

```
設定しますか? [y]/[n]
>y
設定中 ... 設定されました。
```

## 13. 機能説明

### 13.1 内蔵エンコード機能

#### 13.1.2. 映像エンコード

- ・エンコード1およびエンコード2は、入力されたSD-SDI信号、またはNTSCコンポジット映像信号をデジタル変換して、次の方式でエンコードできる。
  - ・ 適用規格：ISO/IEC13818-2/MPEG-2 VIDEO
  - ・ プロファイル&レベル：MP@ML(4:2:0)
  - ・ 符号化制御方式：CBR
- ・NTSCコンポジット入力時は、3次元Y/C分離フィルタを2次元または3次元に切り換えできる。
- ・入力された映像のアスペクト比を4:3、または16:9に設定できる。

#### 13.1.3 音声エンコード

- ・エンコード1およびエンコード2は、入力されたアナログ音声信号をデジタル変換したデジタル音声信号、またはSD-SDIに重畳されたエンベデッド音声により入力されたデジタル音声信号をMPEG2 AAC LC-profile(ISO/IEC13818-7)方式でエンコードできる。
- ・設定された固定の音声モード、または音声リモート入力の接点信号によりリモート制御された音声モード(ステレオ,デュアル,モノラル)を基に音声モードフラグを書き換えできる。

### 13.2 ソフトウェアバージョンアップ機能

この製品は専用ソフトを使用して、機器内のソフトウェアをバージョンアップできる。

## 14. 付属品

電源コード(3Pケーブル 長さ2m).....	1
ヒューズ(耐ラッシュガラス管 125V 1A 予備用).....	1
ACコードクランプ(電源コード抜け防止用).....	1
ラック取付用ネジ.....	4
取扱説明書.....	1

## 15.仕様とブロックダイアグラム

### 15.1 規格

#### 15.1.1 映像入力

項 目		(単位)	規 格
映像入力	コンポジット映像入力 (COMPOSITE IN)	入力信号形式	NTSC コンポジット映像信号
		入力レベル範囲 (mVp-p)	1000 ± 200
		入力インピーダンス ( )	75
		コネクタ	BNC型
		入力端子数	2端子
	SDI入力 (SDI IN)	入力信号内容	SD-SDI (SMPTE 259M 準拠)
		最低入力レベル	5C-FB同軸ケーブル200mを介してこの製品に入力し、デコーダの受信画像に横引きノイズやCRCエラー等が検出されないこと
		入力インピーダンス ( )	75
		コネクタ	BNC型
		入力端子数	2端子

#### 15.1.2 音声入力

項 目		(単位)	規 格
SDI エンベデッド入力 (SDI IN)	入力信号形式		SD-SDI に重畳された AES 音声 2ch (SMPTE 272M 準拠)
	サンプリング周波数 (kHz)		48
	コネクタ		SDI 入力と兼用
アナログ平衡入力 (AUDIO IN 600 )	入力信号形式		モノラル,ステレオ,またはデュアル(二ヶ国語)音声信号
	標準入力レベル (dBm)		+6 (+24 : MAX)
	入力インピーダンス ( )		600、平衡
	コネクタ		キャノンコネクタ 3P (オス)
	入力端子数		L(主), R(副) 各2端子
アナログ不平衡入力 (AUDIO IN 10k )	入力信号形式		モノラル,ステレオ,またはデュアル(二ヶ国語)音声信号
	標準入力レベル (Vrms)		0.25 (2.0 : MAX)
	入力インピーダンス ( )		10k、不平衡
	コネクタ		RCA ピンジャック
	入力端子数		L(主), R(副) 各2端子

音声利得を ±0dB に設定したとき、エンコーダ IC の音声入力が入力レベルになる音声レベル

### 15.1.4 出力部

項 目 (単位)		規 格
TS 出力(TS OUT)	出力信号内容	入力された映像信号および音声信号をエンコードし、エンコーダ 1 とエンコーダ 2 を多重した MPEG-2 トランスポートストリーム
	出力インターフェース	DVB-ASI (バーストモード)
	出力伝送速度 (Mbps)	27, 204 バイト構成
	出力レベル (mVp-p)	800 ± 80
	出力インピーダンス ( )	75
	コネクタ	BNC 型
	出力端子数	1 端子

### 15.1.3 符号化

項 目 (単位)		規 格
映像	符号化方式	MPEG2 MP@ML
	符号化レート (Mbps)	2~8 (音声および PSI データを含む)
	画素数	720(H) × 480(V)
音声	符号化方式	MPEG2 AAC LC-profile
	符号化レート (kbps)	144
	符号化チャンネル (ch)	2
	サンプリング周波数 (kHz)	48

### 15.1.2 音声リモート入力

項 目		規 格	
音声リモート入力 (AUDIO MODE)	入力信号内容	チューナ等から出力される音声モード接点信号	
	出力電圧	DC+5V	
	端子電流	-10mA, ショート時	
	機能	モノラル: 全てオープン ステレオ: コモン - ステレオ間ショート デュアル: コモン - デュアル間ショート	
	コネクタ	スクリューレス端子台 3P	
	入力端子数	2 端子	
	ピン配置	ピン番号	端子名
		1	コモン (G)
		2	ステレオ (ST)
	適用線材	3	デュアル (DU)
適用線材		単線: 直径 0.4mm (AWG26) ~ 直径 1.2mm (AWG16) 撚線: 0.3mm <sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm <sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径 0.18 mm 以上	

### 15.1.4 アラーム出力部

項 目		規 格		
アラーム出力 (ALARM)	出力信号内容	アラーム接点信号		
	インターフェース	無電圧接点		
	コネクタ	スクリューレス端子台 4P		
	ピン配置	ピン番号	接点名称	
		1,2間	UNIT アラーム	
		3,4間	FAN アラーム	
	極 性	UNIT アラーム オープン：正常動作 ショート：機器異常時		
FAN アラーム オープン：正常動作 ショート：冷却用ファン異常検出時				
適用線材	単線：直径0.4mm (AWG26) ~ 直径1.2mm (AWG16) 撚線：0.3mm <sup>2</sup> (AWG22) ~ 0.5mm <sup>2</sup> (AWG20) 撚り線の場合、素線径直径0.18mm 以上			
接点出力	接点許容電流	DC0.5A		
	接点許容電圧	DC+24V		

### 15.1.5 ポート

項 目		規 格	
イーサネットポート (LAN(10/100)) コントローラ接続用	通信インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX	
	通信方式	TCP/IP UDP/IP	
	コネクタ	RJ-45	
	接続ケーブル	HUB 使用時：ストレートケーブル PC 直結時：クロスケーブル	
シリアルポート (CONSOLE) 保守用	通信方式	RS-232C	
	データ転送速度	9600bps	
	同期確立方式	調歩同期方式	
	通信方式	全二重	
	データフォーマット	スタートビット：1 データビット：8 パリティビット：無し ストップビット：1	
	コネクタ	D-SUB 9ピン (オス/インチねじ)	
	接続ケーブル	ストレートケーブル	

### 15.1.6 一般仕様

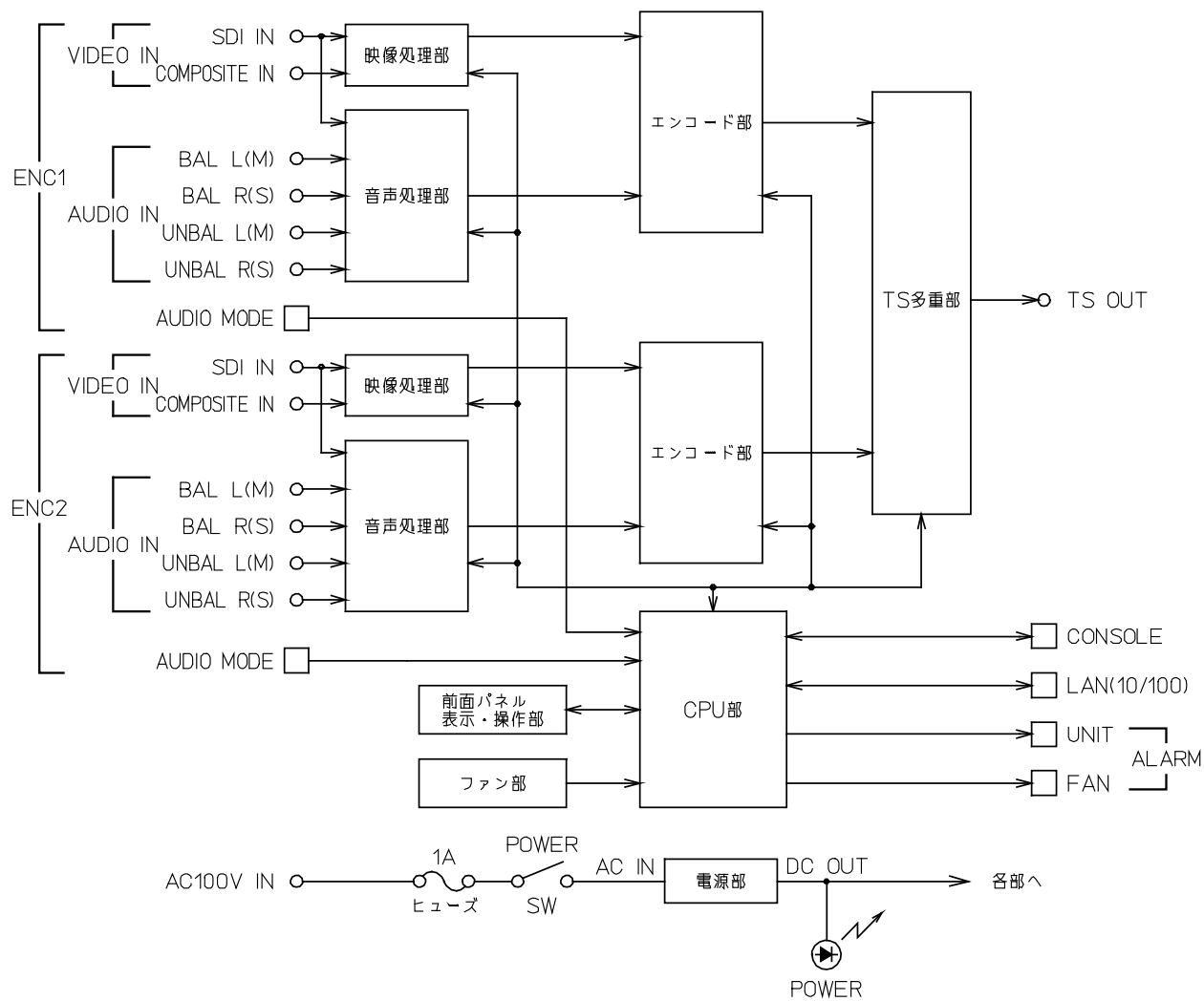
項目 (単位)	規格	備考
構造	19 インチラックマウントタイプ JIS : 1H・EIA : 1U 兼用	
冷却方式	DC ファンによる強制空冷	
使用電源電圧 (V)	AC100V ± 10%	50/60Hz、連続使用
絶縁耐圧 (kV)	AC1kV 1 分間	
絶縁抵抗 (M )	3M 以上	
消費電力 (VA)	35VA 以下 (18W)	AC100V 入力時
使用温度範囲 ( )	0 ~ +40	
寸法 (mm)	480.0(W) × 43.7(H) × 350.0(D)mm	突起部分は除く
質量 (kg)	4.0kg 以下	

規格および外観は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。



## 15.2 ブロックダイアグラム





## 17. 付録 (MIB 仕様)

この製品における SNMP 仕様について説明します。SNMP エージェント機能を使用し、SNMP マネージャでこの製品を監視する場合に使用します。なお、記載されていない標準 MIB については、サポート対象外です。

### 17.1 ポート番号

SNMP で使用される UDP ポートは以下の値 (固定) を使用します。

SNMP リクエスト受信ポート	161
SNMP トラップ送信ポート	162

### 17.2 Trap 送信

MIB 一覧表内の TRAP 欄に「 」が付いている項目に限り、状態の変化に関して設定されたマネージャに対し送信を行います。

下記で規定される以外、電源の ON 時に Cold Start, 認証失敗による不正コミュニティ通知には対応しません。

### 17.3 その他

コミュニティ名は “public” 固定とします。

項目	OID ( dtvra = 1.3.6.1.4.1.16102.1.22 )		内容	TRAP	R/W	型
機器監視	dtvra.1	dtvGStatus	-	-	-	-
機器情報	dtvra.1.1	dtInformation	-	-	-	-
製品名	dtvra.1.1.1	dtProduct	DENC-SDTV固定	-	RO	STRING
アラーム	denc.1.1.2	dencUnitAlarm	機器に現在何かしらの異常があるかどうかを示す。 0:正常 1:異常	-	RO	INTEGER
ユニットタイプ	denc.1.1.3	dencUnitType	製品種別を識別する数値	-	RO	STRING
ユニットID	denc.1.1.4	dencUnitID	ユニットを識別する数値	-	RO	INTEGER
CPUバージョン	denc.1.1.5	dencVersionPrg	-	-	-	-
CPU1	denc.1.1.5.1	dencVerProg1	ファームウェア1のバージョン「Prog1 Ver 1.00:40」	-	RO	STRING
CPU2	denc.1.1.5.2	dencVerProg2	ファームウェア2のバージョン「Prog2 Ver 1.00:40」未使用の場合「Null」	-	RO	STRING
CPU3	denc.1.1.5.3	dencVerProg3	ファームウェア3のバージョン「Prog3 Ver 1.00:40」未使用の場合「Null」	-	RO	STRING
CPU4	denc.1.1.5.4	dencVerProg4	ファームウェア4のバージョン「Prog4 Ver 1.00:40」未使用の場合「Null」	-	RO	STRING
PLDバージョン	denc.1.1.6	dencVersionPld	-	-	-	-
PLD1	denc.1.1.6.1	dencVerPld1	PLD1のバージョン「PLD1 Ver 1.00:80」	-	RO	STRING
PLD2	denc.1.1.6.2	dencVerPld2	PLD2のバージョン「PLD2 Ver 1.00:80」未使用の場合「Null」	-	RO	STRING
PLD3	denc.1.1.6.3	dencVerPld3	PLD3のバージョン「PLD3 Ver 1.00:80」未使用の場合「Null」	-	RO	STRING
PLD4	denc.1.1.6.4	dencVerPld4	PLD4のバージョン「PLD4 Ver 1.00:80」未使用の場合「Null」	-	RO	STRING
システム情報	denc.1.2	sysInformation	-	-	-	-
コントローラ	denc.1.2.1	sysContInfo	-	-	-	-
コントローラLINK	denc.1.2.1.1	sysContLink	0:コントローラ未接続 1:コントローラ接続中(未使用 0固定)	-	RO	INTEGER
コントローラIP	denc.1.2.1.2	sysContAddress	接続中のコントローラIPアドレス(未使用)	-	RO	IPADDRESS
監視ステータス	denc.1.3	UnitStatus	-	-	-	-
ENC Status	denc.1.3.1	stEnc1	-	-	-	-
ENC運用 状態	denc.1.3.1.1	stEnc1enable	Disable: 0 enable:1 (1固定)	-	RO	INTEGER
SDI Sync 状態	denc.1.3.1.2	stEnc1SDISyncErr	Sync: 0 Loss:1	-	RO	INTEGER

項目	OID ( dtvra = 1.3.6.1.4.1.16102.1.22 )		内容	TRAP	R/W	型
Video Sync 状態	denc.1.3.1.3	stEnc1VideoSyncErr	Sync: 0 Loss:1	-	RO	INTEGER
Audio Sync 状態	denc.1.3.1.4	stEnc1AudioSyncErr	Sync: 0 Loss:1	-	RO	INTEGER
ENC1予備	denc.1.3.1.5	stEnc1Reserve	0固定	-	-	-
ENC Status	denc.1.3.2	stEnc2	-	-	-	-
ENC運用 状態	denc.1.3.1.1	stEnc2enable	Disable: 0 enable:1	-	RO	INTEGER
SDI Sync 状態	denc.1.3.2.2	stEnc2SDISyncErr	Sync: 0 Loss:1	-	RO	INTEGER
Video Sync 状態	denc.1.3.2.3	stEnc2VideoSyncErr	Sync: 0 Loss:1	-	RO	INTEGER
Audio Sync 状態	denc.1.3.2.4	stEnc2AudioSyncErr	Sync: 0 Loss:1	-	RO	INTEGER
ENC2予備	denc.1.3.2.5	stEnc2Reserve	0固定	-	-	-
ハードウェアステータス	denc.1.3.6	stHard	-	-	-	-
ハードウェア異常	denc.1.3.6.1	stHardStr	「NULL」若しくは機器異常詳細文字列	-	RO	STRING
FAN異常	denc.1.3.6.2	stHardFan	正常:0 異常:1	-	RO	INTEGER

### DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078) 682-0001(代) 東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03) 3526-6327(代)  
 カスタマーセンター TEL.(078) 682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く)  
 ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>